茨城県教育財団文化財調査報告第457集

下妻市

中居指遺跡

鬼怒川改修事業地内
埋蔵文化財調査報告書

令和4年3月

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第457集

中居指遺跡

公益財団法人茨城県教育財団

茨城県教育財団文化財調査報告第457集

下妻市

中居指遺跡

なかいざし

鬼怒川改修事業地内
埋蔵文化財調査報告書

令和４年　３月

国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
公益財団法人茨城県教育財団

序

公益財団法人茨城県教育財団は，国や県などの各事業者から委託を受けて埋蔵文化財の発掘調査と整理業務を実施することを主な目的として，昭和52年に調査課が設置されて以来，数多くの遺跡の発掘調査を実施し，その成果として発掘調査報告書を刊行してきました。

この度，国土交通省関東地方整備局下館河川事務所による鬼怒川改修事業に伴って実施した，下妻市中居指遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

今回の調査によって，縄文時代から古墳時代にかけての竪穴建物跡や土坑が確認でき，縄文時代中期から晩期と古墳時代中期の集落跡であることが分かりました。

本書が，歴史研究の学術資料としてはもとより，郷土の歴史に対する理解を深め，教育・文化の向上のための資料として広く活用いただければ幸いです。

最後になりますが，発掘調査から本書の刊行に至るまで，多大な御協力を賜りました委託者であります国土交通省関東地方整備局下館河川事務所に対して厚く御礼申し上げますとともに，茨城県教育委員会，下妻市教育委員会をはじめ，御指導，御協力をいただきました関係各位に対し，心から感謝申し上げます。

令和４年３月

公益財団法人茨城県教育財団

理 事 長　柴　原　宏　一

例　　言

1　本書は，国土交通省関東地方整備局下館河川事務所の委託により，茨城県教育庁総務企画部文化課が令和元年度に緊急発掘調査を実施した，茨城県下妻市大字中居指字町田270番地ほかに所在する中居指（なかいざし）遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査期間及び整理期間は以下のとおりである。

調査　令和２年３月９日～３月17日

整理　令和３年７月１日～11月30日

3　発掘調査は，茨城県教育庁総務企画部文化課が実施した。

4　整理及び本書の執筆・編集は，整理課長小林和彦のもと，首席調査員獅子内一成が担当した。

5　本書の作成にあたり，石器・石製品の岩石の鑑定は，日立市郷土博物館特別専門員の田切美智雄氏にご指導いただいた。

6　本遺跡の出土遺物及び実測図・写真等は，茨城県埋蔵文化財センターにて保管されている。

凡　　例

1　当遺跡の地区設定は，日本平面直角座標第Ⅸ系座標に準拠し，X＝＋20,400 m，Y＝＋9,200 mの交点を基準点（A 1 a1）とした。なお，この原点は，世界測地系（測地成果 2011）による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々 40 m四方の大調査区に分割し，さらに，この大調査区を東西・南北に各々 10 等分し，４m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は，アルファベットと算用数字を用い，北から南へA，B，C…，西から東へ１，２，３…とし，「A 1 区」のように呼称した。さらに小調査区は，北から南へ a，b，c…j，西から東へ 1，2，3…0 と小文字を付し，名称は，大調査区の名称を冠して「A 1 a1 区」のように呼称した。

2　実測図・遺構・遺物一覧で使用した記号は次のとおりである。

遺　　構　　SI－竪穴建物跡　SK－土坑

土層解説　　ローム－ロームブロック　焼土－焼土ブロック　粘土－粘土ブロック

粘－粘性　締－締まり　K－撹乱

含有量　　A－多量　B－中量　C－少量　D－微量　○’－極めて

粘性・締まり　　A－強い　B－普通　C－弱い　○’－極めて

サイズは「大・中・小・粒」で，炭化物については「材・物・粒」で表記した。

3　遺構・遺物実測図の作成方法については，次のとおりである。

(1) 遺構全体図は 400 分の１，各遺構の実測図は原則として 60 分の１の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は，個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は，原則として３分の１の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は，個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は，次のとおりである。

炉・火床面　　竈部材・粘土範囲

●土器　　○土製品　　□石器・石製品

4　土層観察と遺物における色調の判定は，『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著　日本色研事業株式会社）を使用した。

5　遺構・遺物一覧の表記は，次のとおりである。

(1) 計測値の単位はm，cm，gで示した。なお，現存値は（　）を，推定値は［　］を付して示した。

(2) 遺物番号は遺構ごとの通し番号とし，本文，挿図，遺構･遺物一覧，写真図版に記した番号と同一とした。

(3) 遺物一覧の備考欄は，残存率，写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

(4) 遺物の取り上げについては，以下の通りに行っている。遺構をセクションラインで分割し，北方向から時計回りに１区・２区…と区分けをした。層位は，上層から１x を深さ 15 cmとして，２x，３x…の表記としている。遺物一覧の出土位置は，「○区○ x」と表記した。また，一括で取り上げたものについては「覆土中」と表記した。

6　竪穴建物跡の「主軸」は，炉・竈を通る軸線とし，主軸方向は，その他の遺構の長軸（径）方向と共に，座標北からみて，どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した（例　N－10°－E）。

7　今回の報告分で，整理の段階で遺構名を欠番にしたものは以下のとおりである。

欠番　SK ３・４

目　　次

序
例　言
凡　例
目　次
中居指遺跡の概要 …… 1
第１章　調査経緯 …… 3
　第１節　調査に至る経緯 …… 3
　第２節　調査経過 …… 3
第２章　位置と環境 …… 4
　第１節　位置と地形 …… 4
　第２節　歴史的環境 …… 4
第３章　調査の成果 …… 10
　第１節　調査の概要 …… 10
　第２節　基本層序 …… 10
　第３節　遺構と遺物 …… 11
　　１　縄文時代の遺構と遺物 …… 11
　　(1) 竪穴建物跡 …… 11
　　(2) 土坑 …… 25
　　２　古墳時代の遺構と遺物 …… 29
　　竪穴建物跡 …… 29
　　３　時期不明の遺構と遺物 …… 31
　　(1) 竪穴建物跡 …… 31
　　(2) 土坑 …… 33
　　(3) 遺構外出土遺物 …… 33
　第４節　総　括 …… 40
写真図版 …… PL 1～PL 6
抄　録

挿 図 目 次

第１図　中居指遺跡周辺遺跡分布図（国土地理院 25,000 分の１「下妻」）…… 6
第２図　中居指遺跡調査区設定図（下妻市都市計画図 2,500 分の１）…… 8
第３図　中居指遺跡遺構全体図（400 分の１）…… 9
第４図　基本土層図…… 10
第５図　第３号竪穴建物跡・出土遺物実測図…… 11
第６図　第４号竪穴建物跡，第１・２号土坑実測図…… 12
第７図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（１）…… 13
第８図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（２）…… 14
第９図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（３）…… 15
第10図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（４）…… 16
第11図　第５号竪穴建物跡，第６号土坑実測図…… 19
第12図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（１）…… 21
第13図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（２）…… 22
第14図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（３）…… 23
第15図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（４）…… 24
第16図　第６号竪穴建物跡・出土遺物実測図…… 25
第17図　第１号土坑出土遺物実測図…… 26
第18図　第２号土坑出土遺物実測図…… 27
第19図　第５号土坑・出土遺物実測図…… 28
第20図　第２号竪穴建物跡・出土遺物実測図…… 30
第21図　第２号竪穴建物跡出土遺物実測図…… 31
第22図　第１号竪穴建物跡・出土遺物実測図…… 32
第23図　遺構外出土遺物実測図（１）…… 34
第24図　遺構外出土遺物実測図（２）…… 35
第25図　遺構外出土遺物実測図（３）…… 36
第26図　遺構外出土遺物実測図（４）…… 37

挿 表 目 次

第 1 表　中居指遺跡周辺遺跡一覧……7
第 2 表　第３号竪穴建物跡出土遺物一覧……11
第 3 表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（１）……17
第 4 表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（２）……18
第 5 表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（３）……19
第 6 表　第５号竪穴建物跡　ピット深度……20
第 7 表　第５号竪穴建物跡出土遺物一覧……20
第 8 表　第６号竪穴建物跡　ピット深度……24
第 9 表　第６号竪穴建物跡出土遺物一覧……25
第 10 表　縄文時代竪穴建物跡一覧……25
第 11 表　第１号土坑出土遺物一覧（１）……26
第 12 表　第１号土坑出土遺物一覧（２）……27
第 13 表　第２号土坑出土遺物一覧（１）……27
第 14 表　第２号土坑出土遺物一覧（２）……28
第 15 表　第５号土坑出土遺物一覧……29
第 16 表　縄文時代土坑一覧……29
第 17 表　第２号竪穴建物跡出土遺物一覧……31
第 18 表　第１号竪穴建物跡出土遺物一覧……33
第 19 表　遺構外出土遺物一覧（１）……33
第 20 表　遺構外出土遺物一覧（２）……38
第 21 表　遺構外出土遺物一覧（３）……39
第 22 表　遺構・縄文土器分類別の出土量とその点数一覧
……40

写真図版目次

PL 1　遺構確認状況(北西から)
テストピット 土層断面
第１号竪穴建物跡 炉
第２号竪穴建物跡 竈
第２号竪穴建物跡
第３号竪穴建物跡
第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（１）
第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（２）
PL 2　第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（３）
第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（４）
第４号竪穴建物跡
第５号竪穴建物跡 遺物出土状況
第５号竪穴建物跡
第１号土坑
第５号土坑 遺物出土状況
埋没谷 堆積状況
PL 3　第１・４・５号竪穴建物跡，第５号土坑出土土器
PL 4　第３・４号竪穴建物跡出土土器
第５号竪穴建物跡出土土器
PL 5　第６号竪穴建物跡，第１・２土坑，遺構外出土土器
第４・５竪穴建物跡出土土製品・石器・石製品
PL 6　第２号竪穴建物跡出土土器, 遺構外出土石器･石製品

中居指遺跡の概要

遺跡の位置と調査の目的

中居指遺跡は，下妻市の西部，鬼怒川左岸の標高20～25ｍの台地縁辺部に立地しています。鬼怒川改修事業に伴い，遺跡の内容を図や写真に記録して保存するため，茨城県教育庁総務企画部文化課が令和元年度に1,312㎡について緊急発掘調査を行いました。

調査の内容

今回の調査では，縄文時代の竪穴建物跡４棟，土坑３基，古墳時代の竪穴建物跡１棟，時期不明の竪穴建物跡１棟，土坑１基を確認しました。

中居指遺跡出土遺物

調査の成果

調査の結果，縄文時代中期から晩期，古墳時代中期の集落跡を確認しました。主な遺物は縄文時代のもので，竪穴建物跡からは，中期から晩期にかけての深鉢や浅鉢，台付鉢，注口土器，製塩土器，石皿，磨石のほか，土版，土偶，石剣，独鈷石などが出土しました。土製品および石製品は，祭祀などで用いられたものと想定され，当時の人々の生活の様子を窺い知る貴重な資料となりました。また，遺構の確認されている調査区中央部から北側にかけて，遺構の覆土に混入した遺物や表採で多数の縄文土器片が出土しており，当調査区域には縄文時代の遺物包含層が存在していた可能性があります。

第1章　調　査　経　緯

第1節　調査に至る経緯

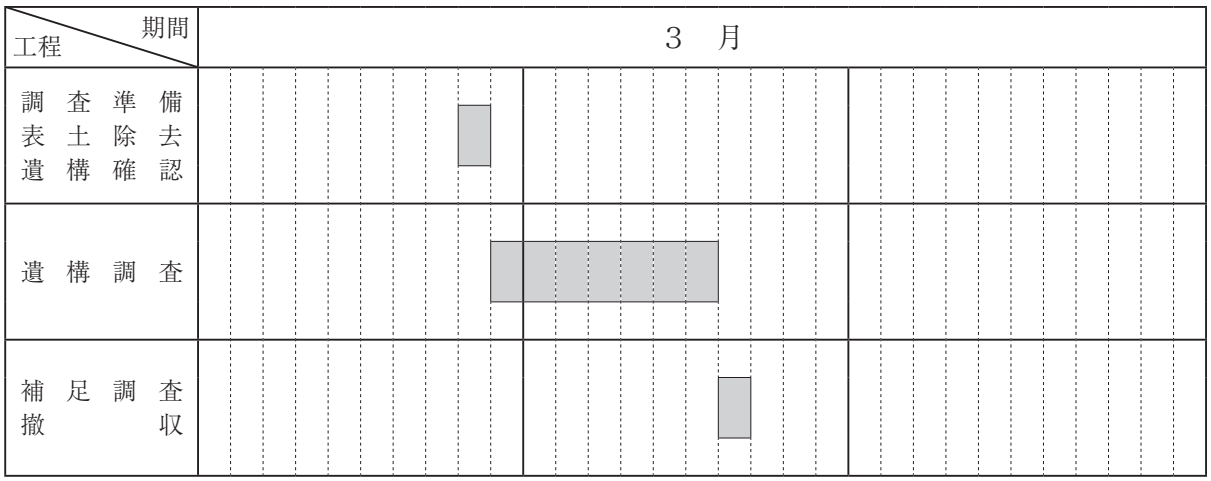
平成28年８月22日，国土交通省関東地方整備局下館河川事務所長は，茨城県教育委員会教育長あてに，鬼怒川緊急対策プロジェクト地内における埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて照会した。これを受けて茨城県教育庁総務企画部文化課は，平成29年５月22・24日，６月16・28日に現地踏査を，令和２年２月４日に試掘調査を実施し，遺跡の所在を確認した。令和２年３月２日，事業地内に中居指遺跡が所在すること及びその取扱いについて別途協議が必要であることを回答した。

令和２年１月16日，国土交通省関東地方整備局下館河川事務所長は，茨城県教育委員会教育長あてに，文化財保護法第94条に基づく土木工事の通知を提出した。令和２年３月５日，茨城県教育委員会教育長は，国土交通省関東地方整備局下館河川事務所長あてに，現状保存が困難であることから，記録保存のための発掘調査が必要であると決定し，工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。鬼怒川の再度の災害防止に向けての緊急的，集中的な河川の工事のため，発掘調査は茨城県教育庁総務企画部文化課が令和２年３月９日から３月17日まで実施した。

第2節　調　査　経　過

中居指遺跡の調査は，令和２年３月９日から３月17日まで実施した。その概要は以下の通りである。

３月９日	調査準備，表土除去，遺構確認
３月10日～16日	遺構調査
３月17日	補足調査，撤収



第2章　位　置　と　環　境

第1節　位　置　と　地　形

中居指遺跡は，茨城県下妻市大字中居指字町田270番地ほかに所在している。

下妻市は茨城県の西部に位置している。下妻市域は，東から筑波台地・下妻台地・結城台地の３つの台地に大別され，これらの台地形成は，市域を流れる小貝川と鬼怒川によるものとされている。下妻台地は，旧河川跡と考えられる低地部との比高差がさほど見られない標高20 ～ 25 mの微高地で，台地の東端部は谷津が入り込み，西端部は鬼怒川に沿って自然堤防が続いている。遺跡に西面する鬼怒川は，古代においてはあばれ川として知られ，現在と大きく流路が異なり，下妻市街地の南辺を東流して高道祖地区の南西部まで屈曲し，小貝川と合流していたとされている。市域の北東域は常に水量豊富な一帯で，万葉集にも詠まれた「鳥羽の淡海」（常陸国風土記では「騰波の江」）と呼ばれる大湿地帯が広がっていた。

地質は，青灰色あるいは暗褐色のシルトと砂が互層となっている層を基盤とし，その上に地層の不明瞭な細砂中砂層があり，その上部に灰白色火山灰質粘土，関東ローム層が重なり，最上部は腐植土層となっている。

本遺跡は，下妻市の西端で，鬼怒川左岸の標高25 mの低台地上に立地している。鬼怒川に西面し，流路の変更により，遺跡の一部は削平されている。遺跡の現況は畑と宅地である。

第2節　歴　史　的　環　境

中居指遺跡周辺の鬼怒川・小貝川中流域の台地上や低地からは，旧石器時代から近世まで多くの遺跡が確認されている。ここでは，当該地域の主な遺跡を中心に，時代ごとに概観する。

旧石器時代の遺跡は，下妻市の東側に位置する桜塚遺跡で，15,000年ほど前と考えられる柳葉形尖頭器が出土している。また，柴崎遺跡〈39〉では，頁岩製のナイフ形石器が採取されている[1)]。本田屋敷遺跡〈41〉からは黒曜石製の細石刃核が出土し，分布調査ではナイフ形石器と細石刃が採集されている[2)]。鬼怒川右岸に位置する西原遺跡〈37〉では，調査で局部磨製石斧や楔形石器，削器を組成とするブロック１か所を確認し，茨城編年Ⅱａ古段階に比定されている[3)]。西原遺跡の東に隣接する一本木遺跡〈36〉では，遺構に伴うものではないが，安山岩製の石刃や黒曜石の縦長剥片などが出土している[4)]。また，鬼怒川右岸の結城台地南部に所在する氏神Ａ遺跡では，試掘調査で黒曜石製の細石刃核が出土している[5)]。

縄文時代の遺跡は，鬼怒川やその支谷を臨む台地上に確認されている。早期，前期の遺跡は総じて少ない。下妻台地の北東部に位置する北山権現遺跡では撚糸文系土器が，また，砂沼から北東に位置する東山遺跡では田戸下層式土器が採集されている。市域の中央部を南流する小貝川支流の糸操川右岸に位置する大木田向遺跡，鬼怒川と砂沼の自然堤防上に位置する根崎前遺跡〈13〉，小貝川支流の内沼川左岸に位置する神明Ａ遺跡，弥平太遺跡からは茅山式土器や貝殻腹縁文による浮島式土器が出土している。また，岡本遺跡〈38〉では，細片のため時期は不詳となっているが，前期の繊維土器が出土している[2)]。縄文時代中期は，市域内で最も多い遺跡数となり，大木田向遺跡や桜塚遺跡などで確認され，勝坂式･阿玉台式･加曽利Ｅ式土器などが出土している。また，鬼怒川右岸の台地上には，仁江戸東遺跡，仁江戸西遺跡，仁江戸南遺跡〈35〉，柴崎遺跡が分布し，前期から中期にかけての遺物が採集されている。仲道遺跡〈42〉では，加曽利ＥⅣ式の土坑４基が調査されており，

また，遺構外出土として石製の刃器が確認されている[2]。西原遺跡では，谷津に沿って一定の間隔を保ちながら，加曽利ＥⅢ式の 28 基の陥し穴が約 120 ｍにわたって直線上に並んで確認されている[3]。当遺跡の主体的な時期となる後期・晩期の遺物は，本田屋敷遺跡，一本木遺跡，弥平太遺跡などで確認されている。本田屋敷遺跡では，称名寺式の土坑や遺物包含層などが確認され，称名寺式期から晩期後半の遺物が多量に出土している[2]。一本木遺跡では，縄文時代後期の竪穴建物跡１棟が[4]，弥平太遺跡からは，晩期の遮光器土偶２点と，土偶と同じ文様をもつ土版などが出土している[6]。

弥生時代の遺構は少なく，調査によって弥生時代の遺構が確認されたのは，結城台地の中でも，北側の台地の南東寄りに位置する諏訪前遺跡のみで，後期の竪穴建物跡が１棟確認されている[7]。また，鬼怒川右岸の皆葉地域に位置する遠山遺跡では，中期末～後期前半の壺形土器片が出土している[8]。

古墳時代の遺跡は，当遺跡から南西側に２㎞ほど離れた台地に立地する国生本屋敷遺跡が挙げられる。遺跡からは古墳時代前期の豪族居館跡が発見され，一辺約 70 ｍの方形の堀やその内側に設けられていた居館の四辺を囲む柵木列が確認されており注目されている[9]。また，古墳としては，野方古墳群〈28〉がある。同古墳群は少なくとも 18 基からなり，野方台遺跡の調査範囲内から 17 基が確認されている。埋葬施設が明らかとなったものはすべて凝灰質砂岩の石積み箱式石棺で，黒雲母片岩を多用する当地域では極めて珍しい埋葬施設である。埴輪を伴う第 12 号墳（帆立貝形）は６世紀後半と考えられている。八千代町の南東端部，鬼怒川右岸の標高 21 ～ 26 ｍの台地上に位置する仁江戸古墳群〈32〉は，現在までに２基の前方後円墳と 19 基の円墳の計 21 基が確認されている。第７号墳では，粘土床に木棺を置く粘土槨からなる主体部が確認され，多数の円筒埴輪（朝顔形を含む），形象埴輪（人物，動物）が出土している。伴出した土師器の高坏の年代から，５世紀末～６世紀初頭の築造年代が与えられている[10]。第 13 号墳は，当古墳群で最大規模の香取神社古墳と同じ向きで，前方後円墳の可能性がある[11]。

奈良・平安時代の当該地域は，新治郡下真郷もしくは川曲郷に属していたと考えられる。下妻地方では河川改修に関する記事が「続日本紀」神護景雲二年（768 年）八月十九条に記載されており，下総国結城郡小塩郷小嶋村（結城市水海道・八千代町大渡戸周辺を推定）から常陸国新治郡川曲郷受津村（下妻市桐ヶ瀬・赤須周辺を推定）までの一千余丈（約３㎞）に及ぶ改修工事が行われていたとされる[12]。また，国生本屋敷遺跡では，豪族居館跡とほぼ同位置に方形区画の溝跡が周回しており，須恵器の坏蓋や赤彩の盤状坏が出土していることから，律令時代初期（７世紀中葉から８世紀初頭）としている。また，市域では諏訪前遺跡において，平安時代の竪穴建物跡 23 棟，掘立柱建物跡３棟が確認され，灰釉陶器・緑釉陶器，墨書・朱書土器，瓦などの注目される遺物が出土している[13]。

※　文中の〈　〉内の番号は，第１図及び第１表の該当遺跡番号と同じである。

註

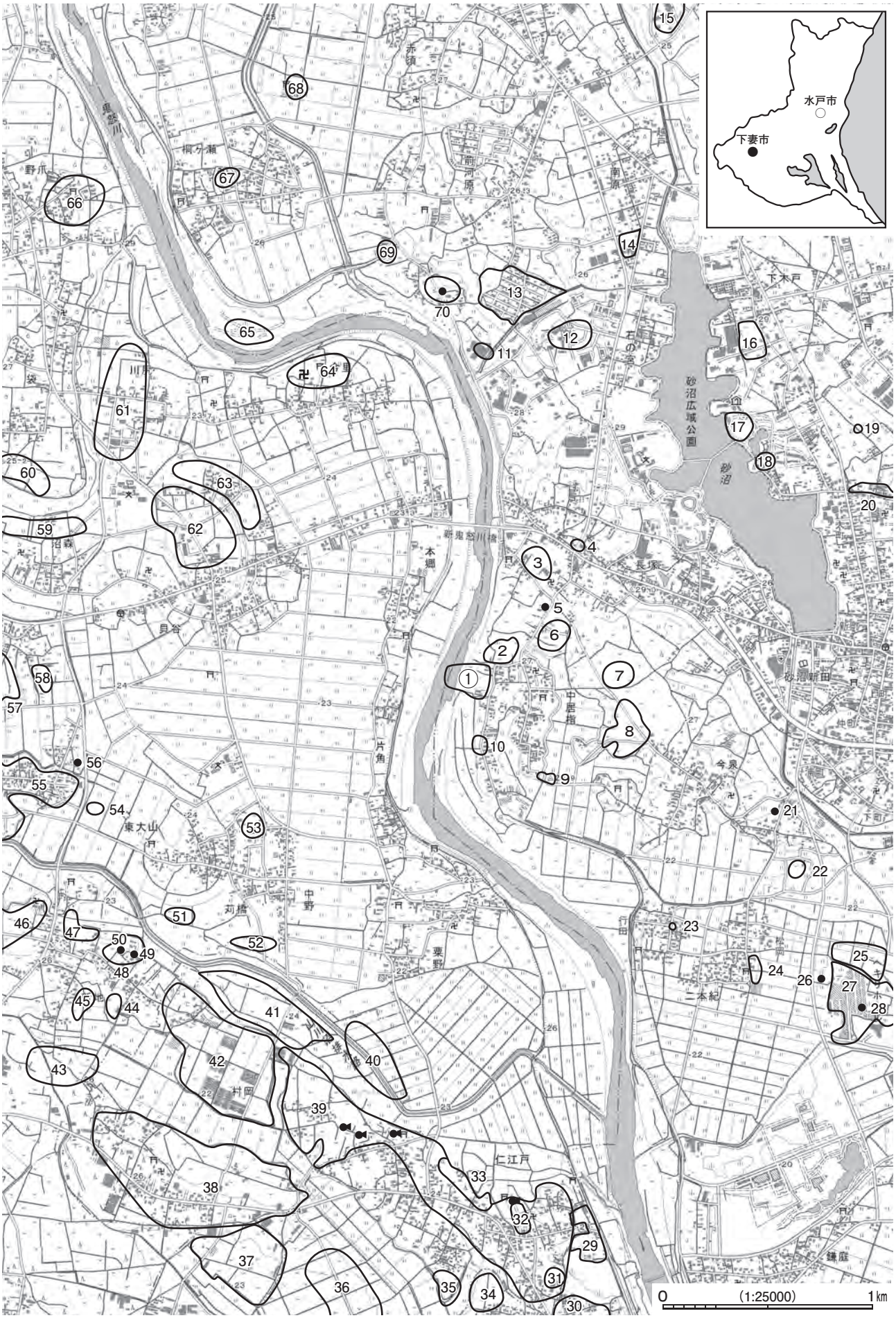
１）赤井博之『市内遺跡７』下妻市埋蔵文化財調査報告書第 13 集　2017 年３月

２）伊藤玄三・田部秀男・石川太郎ほか　『村岡遺跡群　本田屋敷遺跡　仲道遺跡　岡本遺跡』千代川村埋蔵文化財発掘調査報告書第４集　1998 年３月

３）赤井博之・小川和博・大渕淳志・石川太郎『西原遺跡』千代川村埋蔵文化財発掘調査報告書第６集　2000 年３月

４）藤原均　『一本木遺跡発掘調査報告書』八千代町埋蔵文化財調査報告書第５集　1991 年３月

５）小川和博・大渕淳志ほか　『氏神Ａ遺跡』八千代町埋蔵文化財調査報告書第７集　1998 年３月



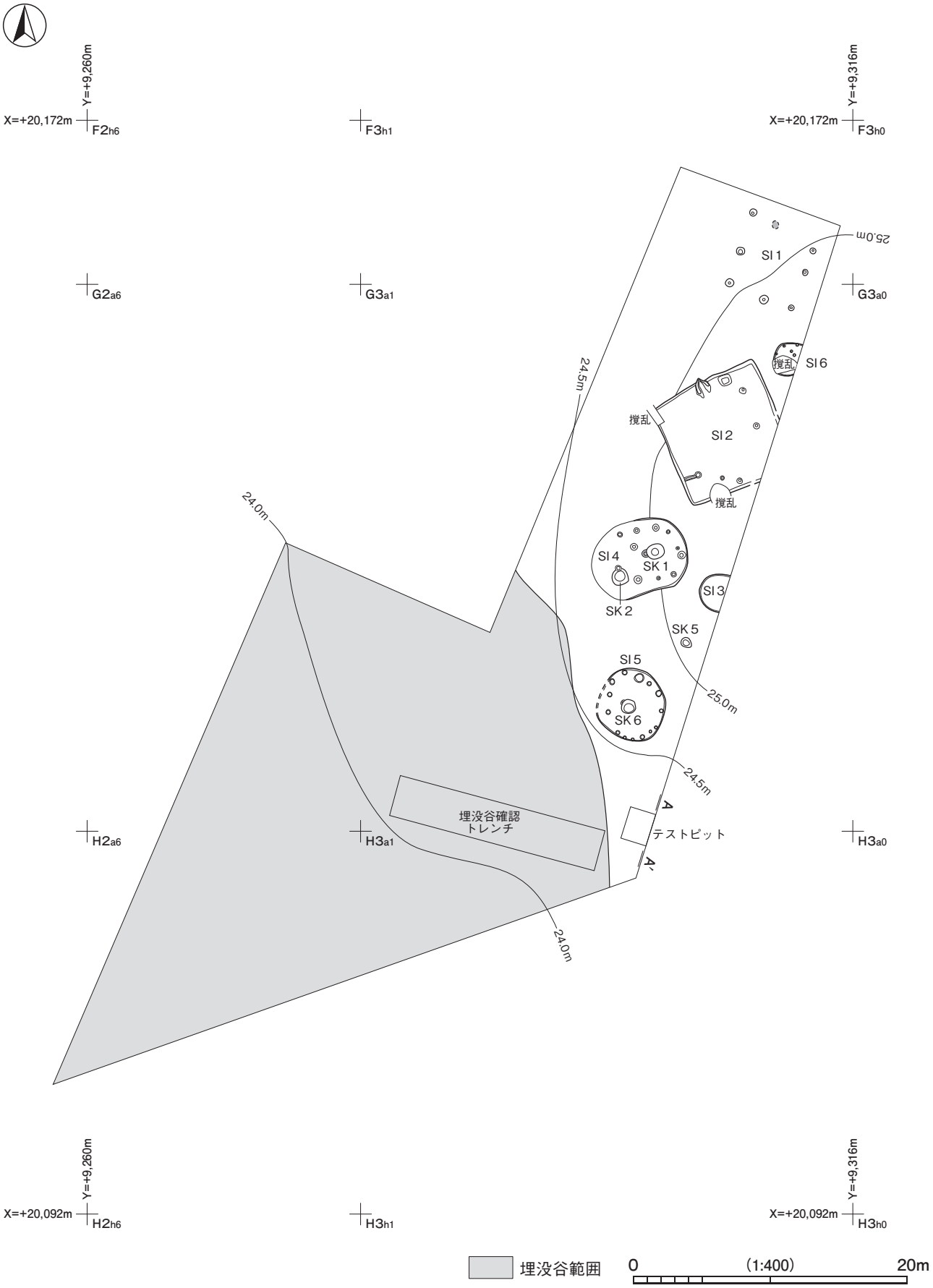
第１図　中居指遺跡周辺遺跡分布図（国土地理院 25,000 分の１「下妻」）

第１表　中居指遺跡周辺遺跡一覧

番号	遺跡名	時代						
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町	江戸
1	中居指遺跡		○		○			
2	北浦遺跡		○		○	○	○	
3	長塚居村遺跡		○		○	○		○
4	天神台遺跡						○	
5	長塚薬師堂古墳				○	○	○	
6	白鳥西遺跡		○			○	○	
7	白鳥北遺跡		○		○	○	○	
8	白鳥南遺跡		○		○	○	○	
9	琵琶島遺跡							○
10	馬場坪遺跡				○	○		
11	寺山前遺跡				○			
12	前河原古墳群				○			
13	根崎前遺跡		○					
14	南原遺跡				○	○		
15	牛観音前遺跡		○					
16	天神塚遺跡					○		
17	愛宕浦遺跡				○	○	○	
18	愛宕遺跡		○				○	
19	下妻西原遺跡		○				○	
20	下妻西町遺跡						○	
21	諏訪台古墳				○			
22	広岡遺跡		○			○	○	
23	行田遺跡				○			
24	松岡前遺跡				○	○		
25	申内遺跡				○	○	○	○
26	西畑遺跡		○		○	○	○	○
27	野方台遺跡	○	○	○	○	○	○	○
28	野方古墳群				○			
29	内田向遺跡				○	○		○
30	中台遺跡		○		○	○	○	○
31	松合遺跡				○			
32	仁江戸古墳群				○			
33	仁江戸中遺跡					○		
34	西新田遺跡		○			○		
35	仁江戸南遺跡		○	○		○	○	○
36	一本木遺跡	○	○	○	○	○		○
37	西原遺跡	○	○		○	○	○	○
38	岡本遺跡		○		○	○	○	○
39	柴崎遺跡	○	○		○	○	○	○
40	江崎遺跡				○	○	○	
41	本田屋敷遺跡	○	○		○	○	○	○
42	仲道遺跡		○	○	○	○	○	○
43	沼尻遺跡		○			○	○	○
44	宿南遺跡						○	
45	前原遺跡					○	○	
46	西袋遺跡		○			○	○	
47	峯山遺跡		○					
48	宿北遺跡				○	○		
49	宿古墳				○			
50	宿北古墳				○			
51	在家遺跡					○	○	
52	宮崎遺跡					○	○	
53	薬師遺跡					○	○	○
54	諏訪西遺跡				○			
55	太田城跡		○			○	○	
56	太田古墳				○			
57	栗崎遺跡					○	○	
58	沼森野方遺跡					○	○	
59	沼森本田遺跡					○	○	
60	宮東遺跡					○		
61	川尻北遺跡				○	○	○	
62	小滝前遺跡				○	○	○	○
63	小滝後遺跡				○	○	○	
64	寺ノ前遺跡					○	○	○
65	上河原遺跡		○		○			○
66	野爪鹿島神社周辺遺跡		○		○	○	○	
67	正法寺遺跡		○		○	○	○	
68	赤須十二天遺跡				○	○	○	
69	前河原山王台遺跡		○		○	○		
70	前河原古墳群				○			

6）a　下妻市編さん委員会『下妻市史』下妻市　1979 年 11 月
b　吹野富美夫『図説　結城・真壁・下館・下妻の歴史』郷土出版社　2004 年２月
7）赤井博之・水野順敏『諏訪前遺跡第１地点』下妻市埋蔵文化財調査報告書第６集　2012 年８月
8）赤井博之『市内遺跡４』下妻市埋蔵文化財調査報告書第９集　2014 年３月
9）阿部義平・平川南・杉山晋作・峰須紀夫『茨城県常総市国生本屋敷遺跡発掘調査報告』国立歴史民俗博物館研究報告第 129 集　2006 年３月
10）山野井哲夫・大渕淳志・小川和博『仁江戸７号墳』八千代市教育委員会　2002 年３月
11）海老澤稔『仁江戸古墳群』茨城県教育財団文化財調査報告第 411 集　2016 年３月
12）赤井博之『図説　結城・真壁・下館・下妻の歴史』郷土出版社　2004 年２月
13）鹿島直樹・村山卓『諏訪前遺跡第２地点』下妻市埋蔵文化財調査報告書第７集　2012 年３月

第２図　中居指遺跡調査区設定図（下妻市都市計画図2,500分の１）



第３図　中居指遺跡遺構全体図（400 分の１）

第３章　調　査　の　成　果

第１節　調　査　の　概　要

中居指遺跡は，下妻市の西部に位置し，鬼怒川左岸の標高 20 ～ 25 ｍの台地縁辺部に立地している。調査面積は 1,312㎡で，調査前の現況は宅地，山林，雑種地である。今回の調査区は遺跡範囲の中央部に当たり，鬼怒川川床から遺物の出土が見られることから，以前はより西側に広がり，河川の氾濫等により湮滅したと考えられる。今回の調査では，竪穴建物跡６棟（縄文時代４・古墳時代１・時期不明１），土坑４基（縄文時代３・時期不明１）を確認した。

遺物は，遺物収納コンテナ（60 × 40 × 20㎝）に 27 箱出土している。主な遺物は，縄文土器（深鉢・鉢・浅鉢・壺・広口壺・台付鉢・注口土器・製塩土器），土師器（坏・高坏・甕・手捏土器），土製品（土版・土偶・有孔円盤・土器片円盤），石器・石製品（磨製石斧・打製石斧・石錘・石皿・磨石・凹石・敲石・砥石・石剣・独鈷石）などである。

第２節　基　本　層　序

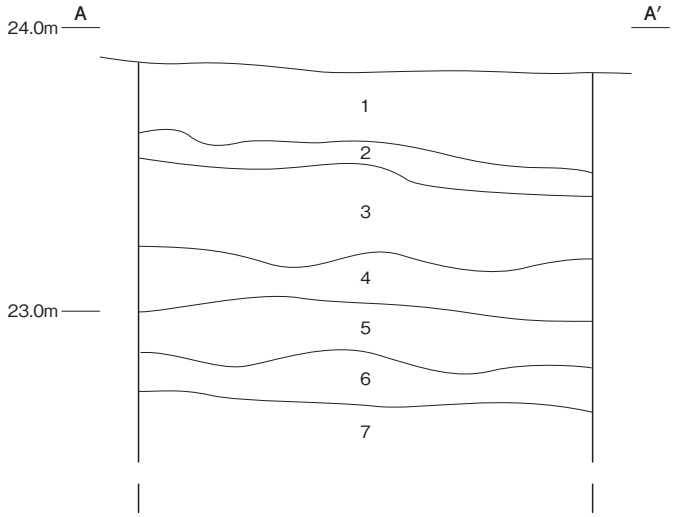
調査区（Ｈ３a6 区）の台地平坦部にテストピットを設定し，基本土層（第４図）の観察を行った。

第１層は，暗褐色を呈する表土層である。粘性・締まりともに弱く，層厚は 20 ～ 35㎝である。

第２層は，にぶい黄褐色を呈するソフトローム層である。粘性･締まりとも普通で，層厚は４～ 24㎝である。

第３層は，黄褐色を呈するハードローム層である。粘性は普通で，締まりは強く，層厚は 10 ～ 36㎝である。

第４層は，にぶい黄褐色を呈するハードローム層である。黒色粒子を少量含んでいる。粘性・締まりともに強く，層厚６～ 24㎝である。



第４図　基本土層図　※位置は「遺構全体図参照」

第５層は，黄褐色を呈するハードローム層である。赤色粒子を少量含んでいる。粘性・締まりともに強く，層厚は８～ 28㎝である。

第６層は，褐色を呈するハードローム層である。赤色粒子を少量含んでいる。粘性･締まりともに強く，層厚は 10 ～ 26㎝である。

第７層は，灰白色を呈する層である。白色粘土粒子を中量，赤色粒子を微量含んでいる。粘性・締まりともに強い。下層は未掘のため，本来の層厚は不明である。

遺構は第２層上面で確認した。

第３節　遺 構 と 遺 物

１　縄文時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，竪穴建物跡４棟，土坑３基を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

⑴　竪穴建物跡

第３号竪穴建物跡（第５図　PL １）

位置　調査区中央部のＧ３f7 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

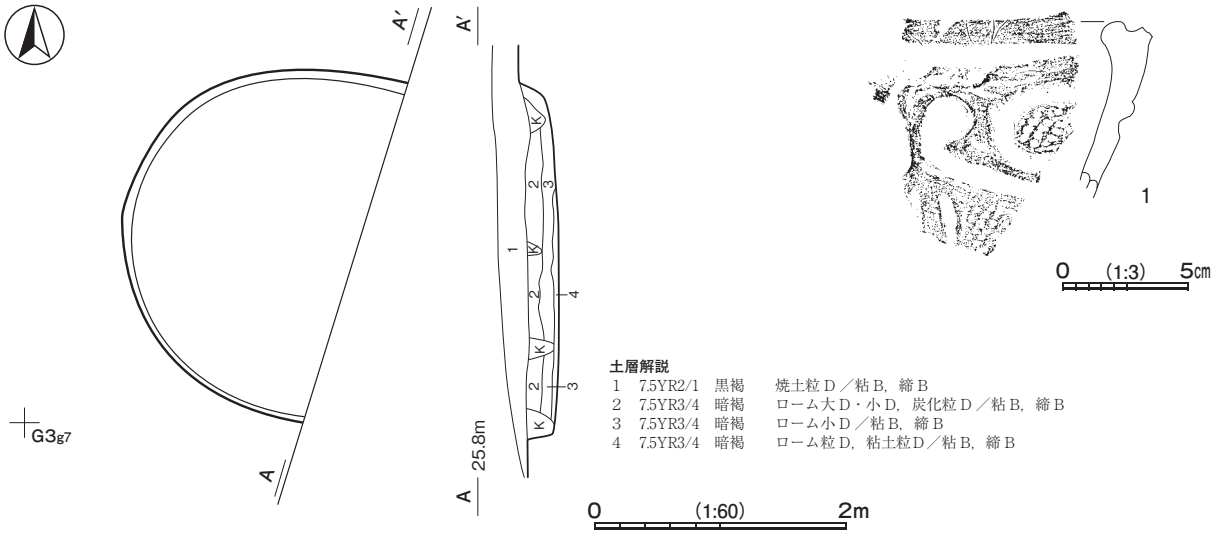
規模と形状　東部は調査区域外のため，南北径 2.81 mで，東西径 1.85 mしか確認できなかった。平面形は円形あるいは楕円形で，壁は高さ 20cmで外傾している。

床　ほぼ平坦である。硬化面は確認できなかった。

覆土　３層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。第１層は古墳時代の表土と考えられる。

遺物出土状況　縄文土器片 29 点（600 ｇ），礫２点が覆土中から出土している。

所見　遺物は少ないものの，時期判断可能な土器はすべて加曽利ＥⅡ式である。



第５図　第３号竪穴建物跡・出土遺物実測図

第２表　第３号竪穴建物跡出土遺物一覧（第５図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部 LR→隆帯脇沈線　体部垂下沈線間無文　緩い波状ヵ	覆土中	PL ４

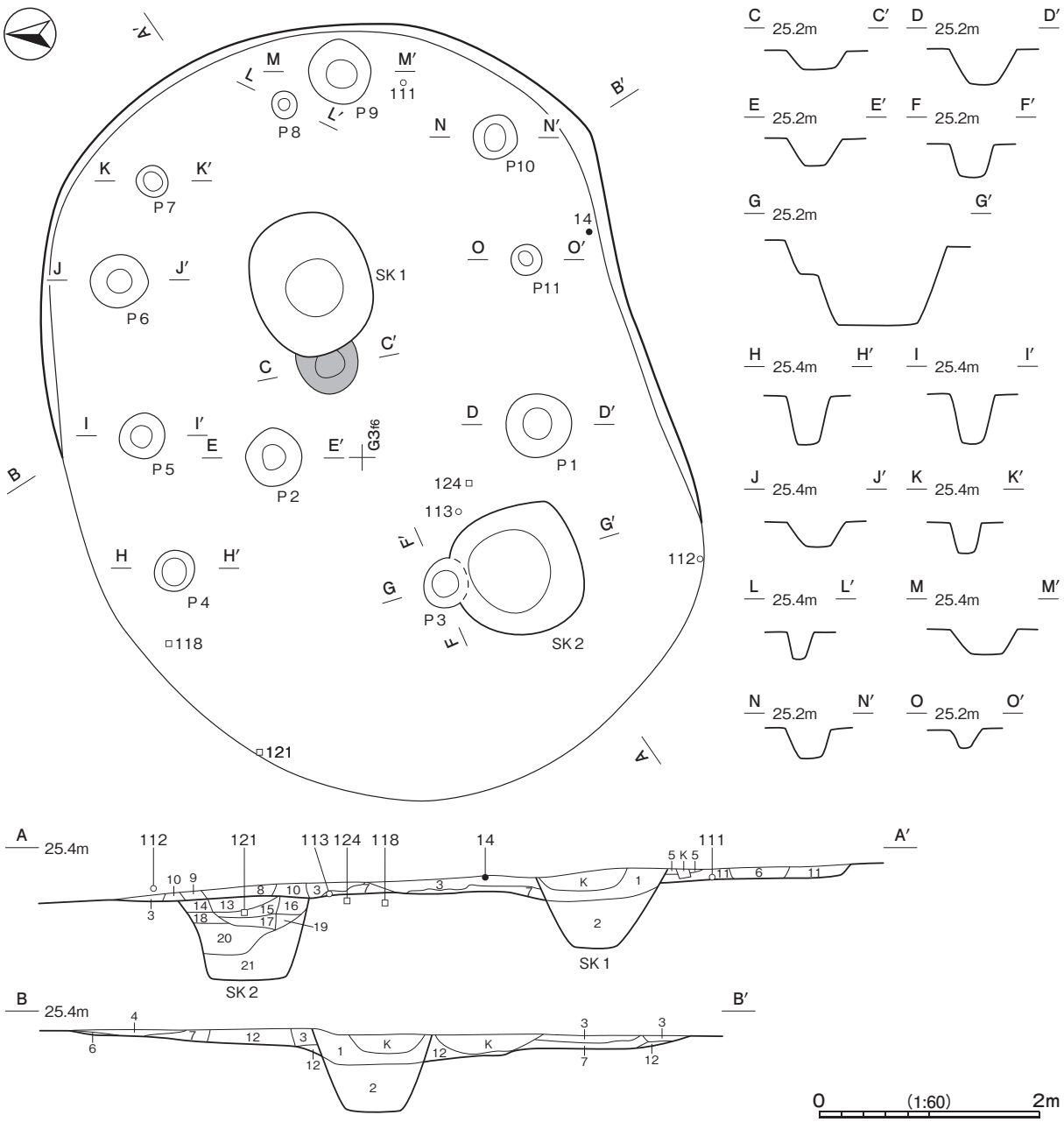
第４号竪穴建物跡（第６～10 図　PL １・２）

位置　調査区中央部のＧ３f6 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

重複関係　第２号土坑を掘り込み，第１号土坑に掘り込まれている。

規模と形状　長径 7.11 m，短径 5.37 mの楕円形で，長径方向はＮ － 55° － Ｅ である。壁は高さ５～ 10cmほどで，外傾している。傾斜下部の西部は削平のため，壁は確認できなかった。

ピット　11 か所。Ｐ１～ P11 は深さ 18 ～ 44cmで，Ｐ２・Ｐ３を除いたピットが壁際に巡っている。性格は不明である。



土層解説

1	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒Ａ，焼土粒Ｂ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ（SK１覆土）
2	7.5YR2/2	黒褐	ローム中Ａ･小Ａ, 焼土小Ｄ, 炭化粒Ｃ／粘Ｂ, 締Ａ（SK１覆土）
3	7.5YR4/4	褐	ローム粒Ｂ，炭化粒Ｃ／粘Ｃ，締Ｂ
4	7.5YR3/4	暗褐	ローム粒Ａ，焼土粒Ａ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
5	7.5YR4/3	褐	ローム粒Ａ／粘Ｃ，締Ｂ
6	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒Ｂ，焼土粒Ｃ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
7	7.5YR5/4	にぶい褐	ローム粒Ａ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
8	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒Ｃ，焼土粒Ｃ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
9	7.5YR3/4	暗褐	ローム粒Ｂ，焼土粒Ｄ，炭化粒Ｄ／粘Ａ，締Ａ
10	7.5YR2/3	極暗褐	ローム粒Ｃ，焼土粒Ｃ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ａ
11	7.5YR4/4	褐	ローム粒Ａ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
12	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒Ａ，焼土粒Ｂ，炭化粒Ｃ／粘Ｂ，締Ｂ
13	7.5YR2/2	黒褐	ローム小Ｃ, 焼土小Ｄ･粒Ｂ, 炭化物Ｄ･粒Ｃ／粘Ｂ, 締Ｂ（SK２覆土）
14	7.5YR3/3	暗褐	ローム粒Ｂ，焼土粒Ｃ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ（SK２覆土）
15	7.5YR3/2	黒褐	ローム中Ｃ・小Ｂ・粒Ａ，焼土小Ｃ・粒Ｃ，炭化物Ｃ／粘Ｂ，締Ａ（SK２覆土）
16	7.5YR4/3	褐	ローム中Ｃ･小Ｂ･粒Ａ, 焼土粒Ｄ, 炭化物Ｄ／粘Ｂ, 締Ａ（SK２覆土）
17	7.5YR2/1	黒	ローム中Ｃ・小Ｃ・粒Ｃ，焼土小Ｃ・粒Ｃ，炭化物Ｃ／粘Ｂ，締Ａ（SK２覆土）
18	7.5YR2/2	黒褐	ローム中Ｃ･小Ｃ･粒Ｂ, 焼土粒Ｄ, 炭化粒Ｄ／粘Ｂ, 締Ａ（SK２覆土）
19	7.5YR3/1	黒褐	ローム小Ｃ・粒Ｂ，焼土粒Ｄ，炭化物Ｄ／粘Ｂ，締Ａ（SK２覆土）
20	7.5YR3/2	黒褐	ローム大Ｄ・中Ｃ・小Ｂ・粒Ａ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ（SK２覆土）
21	記録なし		

第６図　第４号竪穴建物跡，第１・２号土坑実測図

床　ほぼ平坦である。硬化面は確認できなかった。

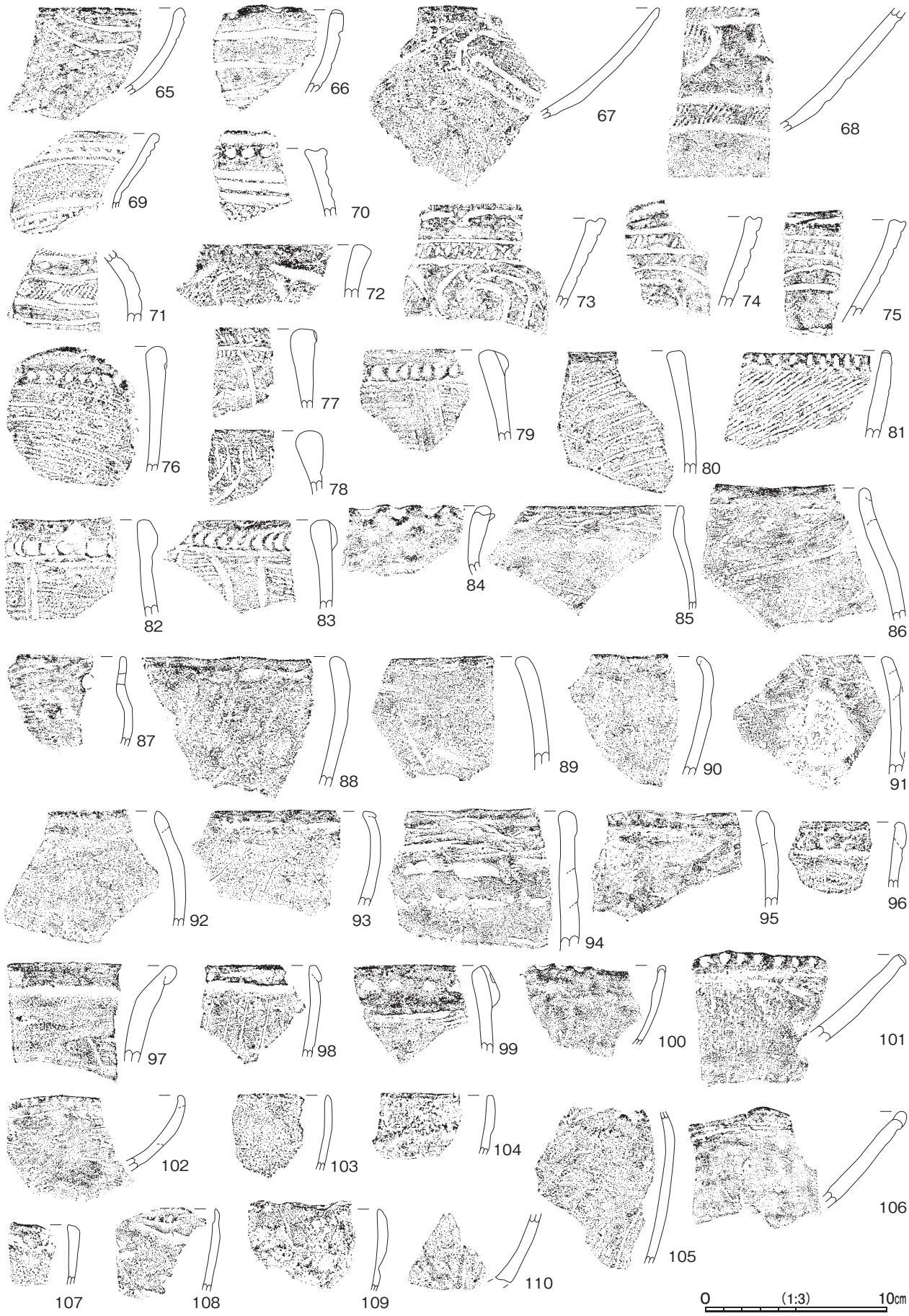
炉　中央に付設されている。径54cmほどの円形あるいは楕円形と推測され，深さ18cmの地床炉である。

覆土　10層に分層できる。ローム粒子を多量に含み不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。第１・２層はSK １，第13～21層はSK ２の覆土である。

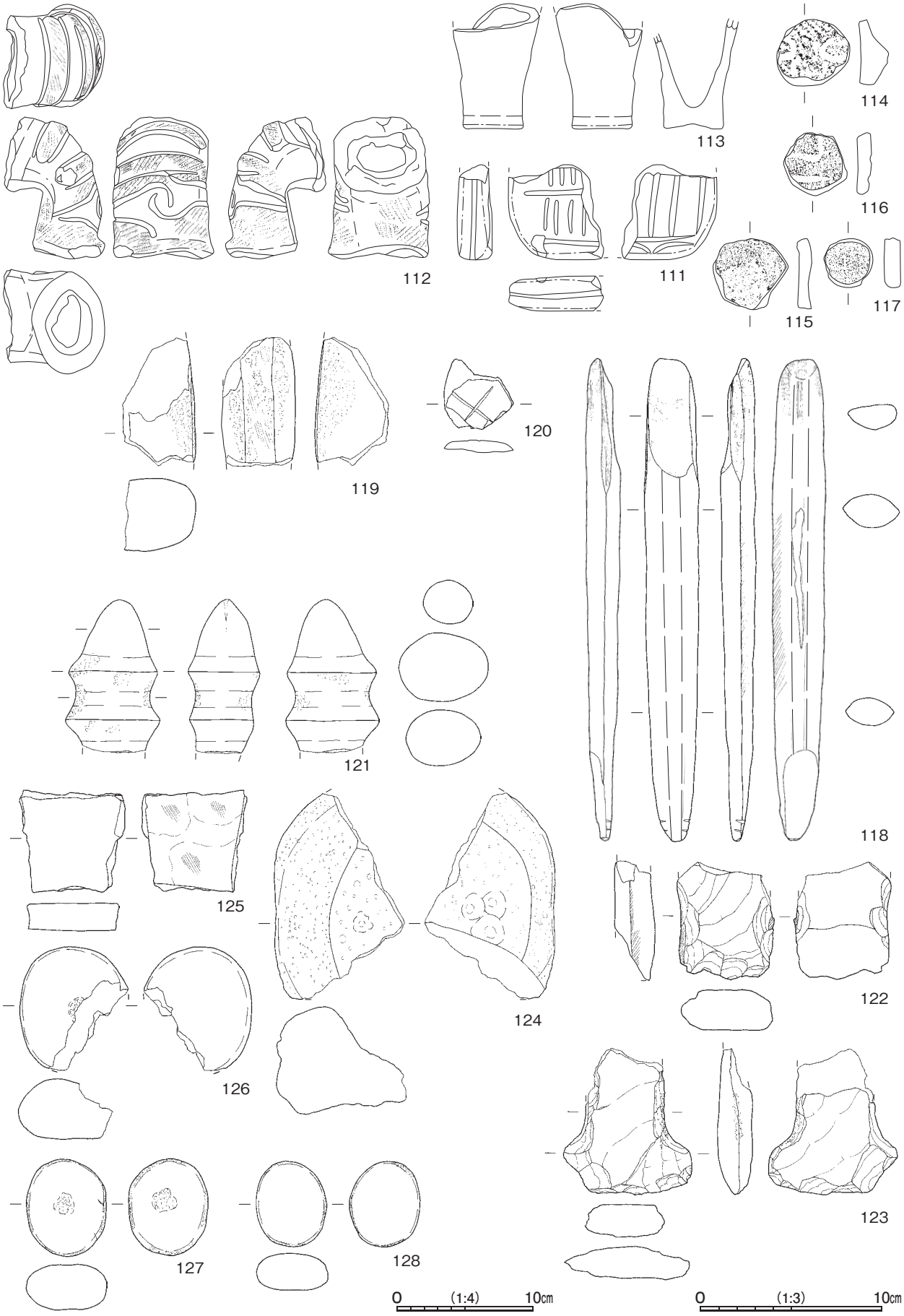
遺物出土状況　縄文土器片2,523点（49,600 ｇ），土製品７点（土版１，土偶２，土器片円盤４），石器18点（石核３，剥片４，石皿３，磨製石斧１，打製石斧２，磨石１，凹石３，砥石１），石製品３点（石剣，石剣ヵ，独鈷石），焼成粘土塊１点（22.03 ｇ），発泡片３点（14.0 ｇ），焼骨片ヵ１点のほか，混入した土師器片が出土

第７図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（１）

第８図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（２）



第９図　第４号竪穴建物跡出土遺物実測図（３）



第10図　第4号竪穴建物跡出土遺物実測図（4）

している。113・124 は中央部，118 は北西部壁前，121 は西部壁際の床面から，112 は南部壁際の覆土上層からそれぞれ出土している。

所見　遺物が加曽利ＥⅢ式から安行３ｄ式期までで，そのうち 30％が安行３ｃ式期である。床面付近から安行３ｃ式から安行３ｄ式期に比定できる土版，土偶，独鈷石が出土している。よって時期は安行３ｃ式から安行３ｄ式期である。

第３表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（１）（第７・８図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	［21.2］	（10.6）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	6単位の波状口縁　口唇部に鉢巻状貼付文　頸部入り組み三叉文の稲妻状区画文	覆土中	５％　PL ４
2	縄文土器	深鉢	［15.0］	（9.0）	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部刻みにより珠文状　頸部二溝間の截痕とLR縄文　体部上半クランク文	４区１ｘ	10％　PL ４
3	縄文土器	深鉢	［22.6］	（9.6）	－	長石・石英	灰褐	普通	口頸部に連続する菱形状区画文　無節Ｌ充填	覆土中	50％　PL ３
4	縄文土器	浅鉢	［18.9］	（7.0）	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	緩い波状　４単位　口頸部三叉状入り組み文	４区１ｘ	20％　PL ４
5	縄文土器	壺	［12.0］	（4.8）	－	長石・石英	灰黄	普通	口唇部にＢ突起状の突起　口縁部外反　LR縄文+刺突文　発泡化	覆土中	10％　PL ４
6	縄文土器	深鉢	[23.0]	（16.0）	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	２段の枠状文	覆土中	５％
7	縄文土器	深鉢	－	（4.8）	－	長石・石英・赤色粒子・雲母	橙	普通	体部LR縄文充填　綾繰文	３区１ｘ	10％
8	縄文土器	深鉢	［19.8］	（8.1）	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部に２単位の山形突起　外面削り後粗いナデ　内面ナデ	確認面	10％　PL ４
9	縄文土器	深鉢	［25.4］	（15.4）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部横位のナデ　体部縦位の条線＋粗いナデ	覆土中	10％　PL ３
10	縄文土器	台付鉢	－	（7.8）	［18.6］	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	無節Ｌ充填の磨消縄文　太い沈線内なぞり	Ｐ１覆土中	10％　PL ４
11	縄文土器	深鉢	［25.0］	（10.9）	－	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	外面削り　内面ナデ	覆土中	10％
12	縄文土器	壺	8.8	（4.6）	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面磨き	覆土中	10％　PL ３
13	縄文土器	ミニチュア	［3.6］	（4.8）	－	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部刻み　口頸部に細かい刺突文　貫通孔１か所	Ｐ１覆土中	10％　PL ４
14	縄文土器	ミニチュア	6.8	2.7	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面指頭ナデ	覆土上層	90％　PL ３
15	縄文土器	ミニチュア	［4.8］	（2.3）	－	長石・石英	橙	普通	外・内面ナデ	覆土中	40％　PL ４
16	縄文土器	ミニチュア	－	（3.4）	1.4	長石・石英	にぶい橙	普通	外面指頭ナデ	Ｐ１覆土中	60％　PL ３
17	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	黒褐	普通	RL隆起帯縄文　枠内に沈線文　突起下に縦長瘤	３区１ｘ	
18	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	波頂部魚鰭状　1段押圧の豚鼻状瘤と豚鼻瘤　頸部RL隆起帯縄文による三角形区画文	覆土中	
19	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	隆起帯縄文による三角形区画文ヵ　波頂部下に2段押圧の豚鼻状瘤	覆土中	
20	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	波状口縁　無節Ｌ充填の稲妻状磨消縄文ヵ　波底部に瘤	１区１ｘ	
21	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	台形状の波頂部　2段押圧の豚鼻状瘤　隆起帯による三角形区画文ヵ	３区１ｘ	
22	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	口頸部RL隆起帯縄文による三角形区画文　波頂部下２段押圧瘤	覆土中	
23	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	RL隆起帯縄文による三角形区画文　波頂部下に横長瘤＋豚鼻状瘤	覆土中	
24	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部玉抱き三叉文　RL充填	覆土中	
25	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	口頸部稲妻状磨消縄文　LR充填	２区１ｘ	
26	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR隆起帯縄文　瘤剥離	覆土中	
27	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部沈線　LR隆起帯縄文による幾何学文　注口ヵ	４区１ｘ	
28	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口頸部LR隆起帯縄文による枠状文　豚鼻状瘤貼付　隆起弱い	覆土中	
29	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	屈曲部に鎖状突起　頸部瘤を中心に入り組み三叉文　RL充填	覆土中	
30	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部玉抱き三叉文　LR充填	覆土中	
31	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口縁部玉抱き三叉文　体部LR縄文充填	覆土中	
32	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に山形突起　口縁部LR　体部LR充填の弧線文+三叉文	覆土中	
33	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄橙	普通	LR充填縄文による弧線文	覆土中	
34	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部入り組み三叉文	覆土中	
35	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	底面に沈線文	覆土中	
36	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	口縁部に充填刺突文　体部Ｓ字状の入り組み文　台部ヵ	１区１ｘ	
37	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部に充填刺突文　体部入り組み文による稲妻状文　台部ヵ	覆土中	
38	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	緩い波状　頂部台形状　口縁部充填刺突文	１区１ｘ	PL ４
39	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	波頂部鉢巻状貼付文　口頸部菱形状区画文	覆土中	
40	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	浅黄橙	普通	広口壺状　頸部に二溝間の截痕	４区１ｘ	
41	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外傾する鉢　充填刺突文による弧線文	覆土中	PL ４
42	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	明褐	普通	口縁部に充填刺突文　体部磨き	覆土中	PL ４
43	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	黒褐	普通	体部充填刺突文	２区１ｘ	
44	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	浅黄橙	普通	広口壺状　口縁部に斜条線	覆土中	
45	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	広口壺状ヵ　細かい刺突による充填刺突文	覆土中	
46	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	体部矢羽根状の沈線文	覆土中	PL ４
47	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部に２列の刺突列	１区１ｘ	
48	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口縁部内面に弧線文　外面２列の充填刺突文	１区２ｘ	
49	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英	明褐	普通	口縁突起下細かい刺突文充填の縦位区画文　口縁部弧線文	覆土中	PL ４
50	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口唇部に刻み　口縁部に充填刺突文	Ｐ１覆土中	PL ４
51	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	広口壺状　体部充填刺突文	覆土中	
52	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	広口壺状ヵ　体部ボタン状瘤と縦位の充填刺突文　枠状文	Ｐ１覆土中	PL ４
53	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部瘤＋弧線文　体部にも瘤貼付	覆土中	
54	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	充填刺突文　内面ナデ	覆土中	
55	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	細かい刺突充填の弧線文　２弾押圧瘤	覆土中	PL ４
56	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部沈線間に短い斜線文　体部横位に連続する渦巻き文ヵ	覆土中	
57	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石	橙	普通	頸部沈線による蛇行文	確認面	
58	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	広口壺状　ボタン状瘤とそれを囲むような弧線文・三叉文	覆土中	PL ４

第４表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（２）（第８～10図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
59	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	にぶい橙	普通	枠状文	確認面	
60	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	２段の枠状文	４区２ｘ	
61	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部２段の枠状文	Ｐ１覆土中	
62	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	枠状文　内面ナデ	覆土中	
63	縄文土器	台付鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	台部　三角形区画文と弧線文ヵ	４区１ｘ	
64	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	褐灰	普通	外面沈線による渦巻き文ヵ　外・内面縦位のナデ	覆土中	
65	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口縁部弧線文　外・内面ナデ	４区１ｘ	
66	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	にぶい橙	普通	枠状文ヵ　口縁部刻みにより連状	覆土中	
67	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	褐	普通	口唇部沈線　口縁部二溝間の截痕　体部雲形文　無節Ｌ充填	覆土中	
68	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	無節Ｌ充填の磨消縄文	Ｐ１覆土中	
69	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部・頸部に二溝間の截痕　頸部LR縄文　二次焼成	覆土中	PL ４
70	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	口唇部沈線＋刻み　頸部RL縄文	覆土中	
71	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	LR充填の雲形文　赤彩	覆土中	
72	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	LR充填の磨消縄文　台部の可能性あり	４区１ｘ	
73	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	橙	普通	口唇部沈線　口縁部二溝間の截痕　P74・75と同一ヵ	覆土中	PL ４
74	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	橙	普通	口唇部沈線　口縁部二溝間の截痕　P73・75と同一ヵ	覆土中	
75	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	緩い波状ヵ　沈線による枠状文　外面削り　内面磨き　P73・74と同一ヵ	１区１ｘ	
76	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部押し引き状刺突文　頸部斜線文　周縁摩滅　土器片円盤ヵ	４区１ｘ	
77	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	付点紐線文　口縁部やや隆起　頸部無文	３区１ｘ	
78	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・黒色粒子・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部に短沈線文　頸部弧線文	覆土中	
79	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	明赤褐	普通	頸部条線→紐線貼付→縦位区画文	覆土中	
80	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	頸部条線	４区１ｘ	
81	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部刻み　無節Ｒ縄文	Ｐ１覆土中	
82	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	頸部条線→紐線貼付	Ｐ１覆土中	
83	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	頸部条線→紐線貼付→縦位区画文	覆土中	
84	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	広口壺状　口唇部押圧による小波状	Ｐ１覆土中	
85	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰褐	普通	外面削り　内面小口状工具によるナデ	１区１ｘ	
86	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面口縁部横位の磨き　体部ナデ　内面ナデ	覆土中	
87	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	外・内面ナデ　貫通孔１か所	覆土中	
88	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面削り　内面ナデ	確認面	
89	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外・内面ナデ	３区１ｘ	
90	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ	４区１ｘ	
91	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外・内面ナデ	１区１ｘ	
92	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	外面削り　内面ナデ	４区１ｘ	
93	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	外面横位の削り　内面ナデ	覆土中	
94	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面横位の削り　内面横位のナデ	覆土中	
95	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面削り　内面ナデ	４区１ｘ	
96	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナデ	覆土中	
97	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	付帯口縁　外・内面ナデ	１区１ｘ	
98	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	付帯口縁　頸部縦位の条線文	Ｐ１覆土中	PL ４
99	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	付帯口縁上に刺突文	覆土中	PL ４
100	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	４山の山形突起　外面削り　内面ナデ	覆土中	
101	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部刻み　外面ナデ　内面粗い磨き	確認面	
102	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外・内面ナデ	Ｐ１覆土中	
103	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部摘みだし状　外面削り　内面ナデ	確認面	
104	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部内削ぎ状　外面剥離　内面ナデ	Ｐ１覆土中	PL ４
105	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外面削り　内面ナデ	覆土中	
106	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部に沈線と小突起　外面削り　内面磨き	Ｐ１覆土中	
107	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英	明赤褐	普通	口唇部外削ぎ状　外面剥離　内面ナデ	Ｐ１覆土中	
108	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部内削ぎ状　外面削り　内面ナデ	２区１ｘ	PL ４
109	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口唇部摘みだし状　外面削り　内面ナデ	覆土中	
110	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外面削り　内面ナデ	３区１ｘ	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	胎　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
111	土版	(5.2)	(5.2)	1.9	55.10	長石・石英・角閃石	橙	表面２段の区画文＋縦位沈線　裏面縦位沈線と弧線文　側面に沈線	覆土中層	PL ５
112	土偶	(7.9)	(5.5)	0.9～1.3	145.91	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	中空　腕部　無節Ｌの隆起帯縄文　Ｓ字状入り組み文　赤彩	床面	PL ５
113	土偶	(6.9)	3.1～(4.7)	0.5～1.8	68.47	長石・石英	黒褐	中空　脚部　外面磨き	床面	PL ５
114	土器片円盤	3.6	4.0	0.5～1.6	14.88	長石・石英	橙	安行２式隆起帯縄文片利用　周縁打ち欠き	Ｐ１覆土中	
115	土器片円盤	3.9	4.1	0.8	13.47	長石・石英・角閃石	黒褐	深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	覆土中	
116	土器片円盤	3.4	3.5	0.8	10.88	長石・石英・赤色粒子	橙	安行３ｃ～３ｄ式深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	覆土中	
117	土器片円盤	2.7	2.7	0.9	8.96	長石・石英	灰黄褐	深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	Ｐ１覆土中	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
118	石剣	26.5	2.9	1.8	207.35	粘板岩	上部欠損後再調整　下端に沈線文	床面	PL ５
119	磨製石斧	(7.0)	(4.0)	4.0	158.46	砂岩	定角式　表裏の一部・側面に加工時の敲打痕　被熱	３区１ｘ	
120	石剣ヵ	(3.8)	(3.9)	0.7	11.51	緑泥片岩	頭部ヵ　×字文　被熱	Ｐ１覆土中	
121	独鈷石	(11.2)	6.9	5.3	415.79	泥岩	括れ部付近に加工時の敲打痕　被熱	床面	PL ５
122	打製石斧	(6.5)	(5.4)	2.2	98.88	ホルンフェルス	分銅型　括れ部両側縁に擦り痕	覆土中	

第５表　第４号竪穴建物跡出土遺物一覧（３）（第 10 図）

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
123	打製石斧	(8.0)	7.1	1.9	112.14	ホルンフェルス	分銅型　一側縁部のみ敲打痕	１区１ｘ	PL ５
124	石皿	(15.0)	(9.5)	7.8	722.76	安山岩	作業面と原礫面の稜明瞭　表裏に凹み　表面凹→磨　裏面磨→凹	床面	
125	砥石	7.4	7.7	2.0	230.52	流紋岩ヵ	盤状　表裏とも光沢のある砥面	確認面	PL ５
126	凹石	(9.1)	(7.9)	4.3	348.16	流紋岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　凹→磨	１区１ｘ	
127	凹石	7.1	5.8	3.3	182.04	安山岩	表裏・側面ざらつきのある磨り面　凹→磨　側縁に敲打痕	覆土中	PL ５
128	磨石	6.2	5.1	2.6	135.12	安山岩	表裏光沢のある磨り面　側面一部光沢のある磨り面と敲打痕	１区１ｘ	

第５号竪穴建物跡（第 11 ～ 15 図　PL ２）

位置　調査区中央部のＧ３h5 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

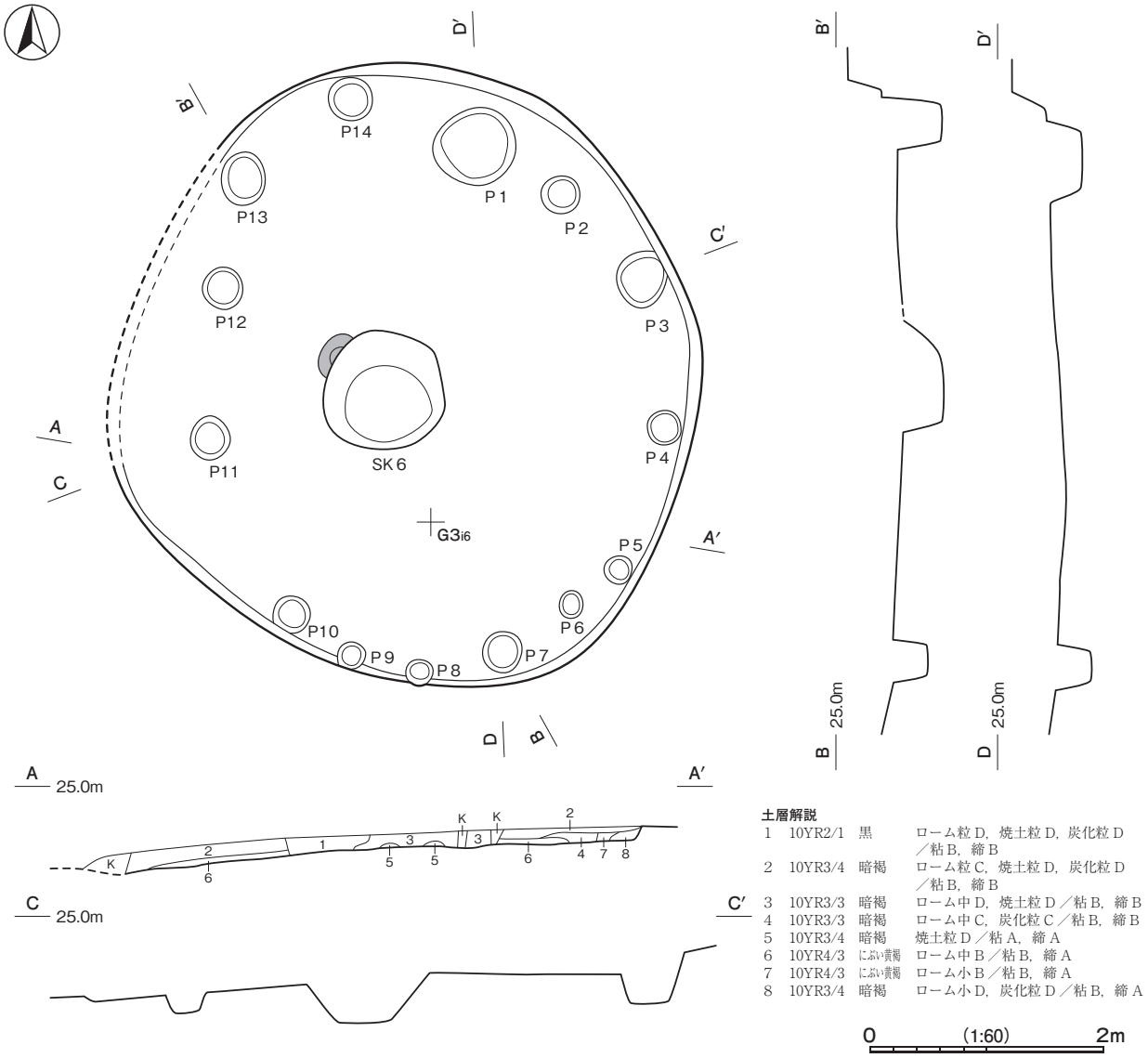
重複関係　第６号土坑に掘り込まれている。

規模と形状　長軸 5.45 m，短軸 5.12 mの円形である。壁は高さ 10 ～ 30cmほどで，ほぼ直立している。

床　ほぼ平坦である。硬化面は確認できなかった。

炉　中央やや西寄りに付設されている地床炉で，長径 44cm，短径 30cmほどの楕円形と推測される。

ピット　14 か所。深さ 13 ～ 46cmほどのピットがいずれも壁際に位置することから，壁柱穴と考えられる。



第 11 図　第５号竪穴建物跡 , 第６号土坑実測図

第６表　第５号竪穴建物跡　ピット深度

番号	Ｐ１	Ｐ２	Ｐ３	Ｐ４	Ｐ５	Ｐ６	Ｐ７	Ｐ８	Ｐ９	P10	P11	P12	P13	P14
深さ（cm）	33	13	46	43	31	38	46	36	43	33	16	37	32	38

覆土　８層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。

遺物出土状況　縄文土器片 1,297 点（44,410 ｇ），土製品１点（有孔円盤），石器 11 点（剥片２，石皿１，磨石３，敲石１，凹石４），焼成粘土塊１点（2.91 ｇ），礫 16 点，焼骨片１点が出土している。

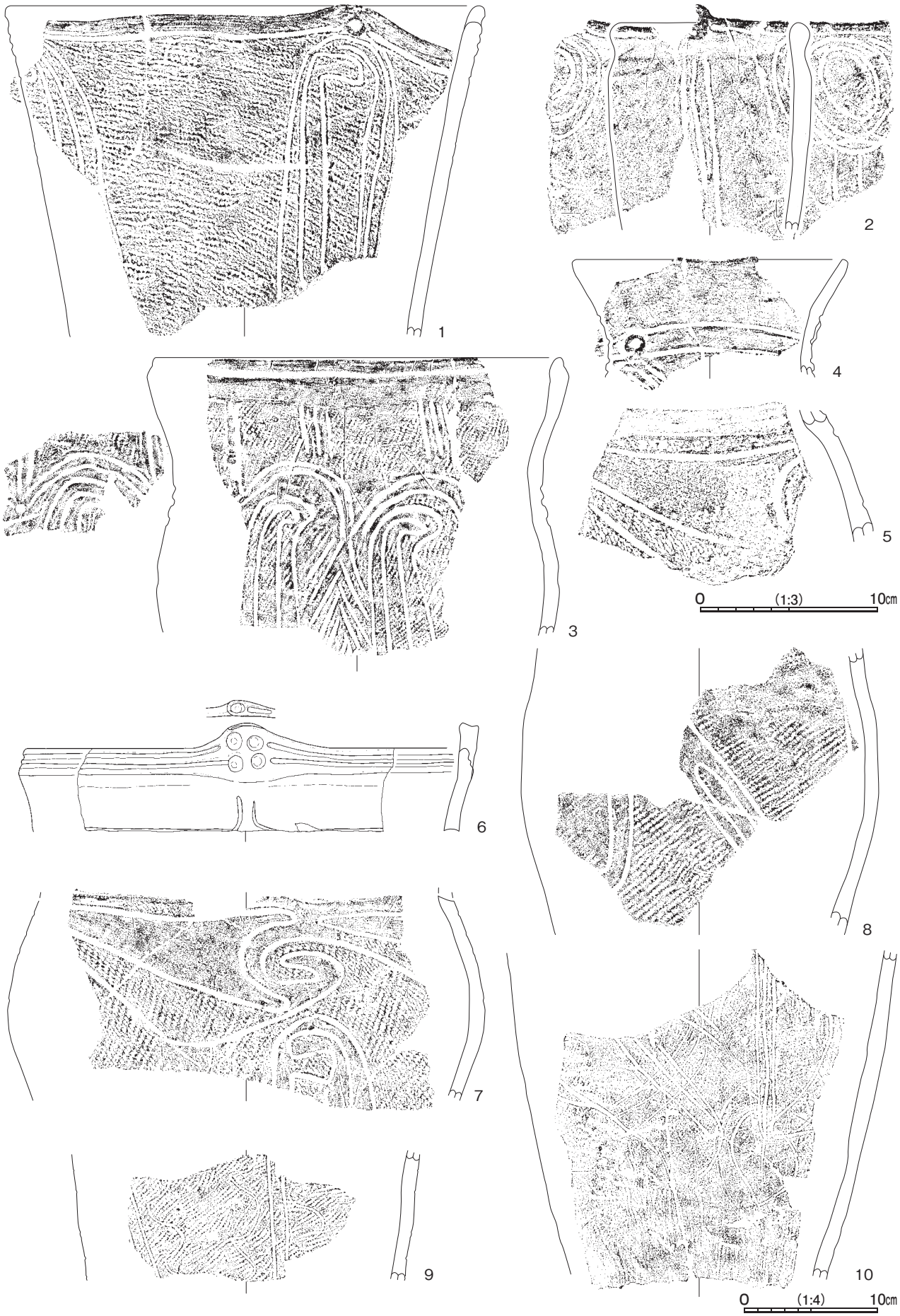
所見　時期は，遺物が加曽利ＥⅢ式から出土しているが，時期判断可能な土器が 75％ほどを占める堀之内１式期と考えられる。復元可能な土器を見ると，堀之内１式古段階から堀之内２式新段階までが主体となるため，長期間にわたり廃棄が継続したと見られる。

第７表　第５号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 12 ～ 15 図）

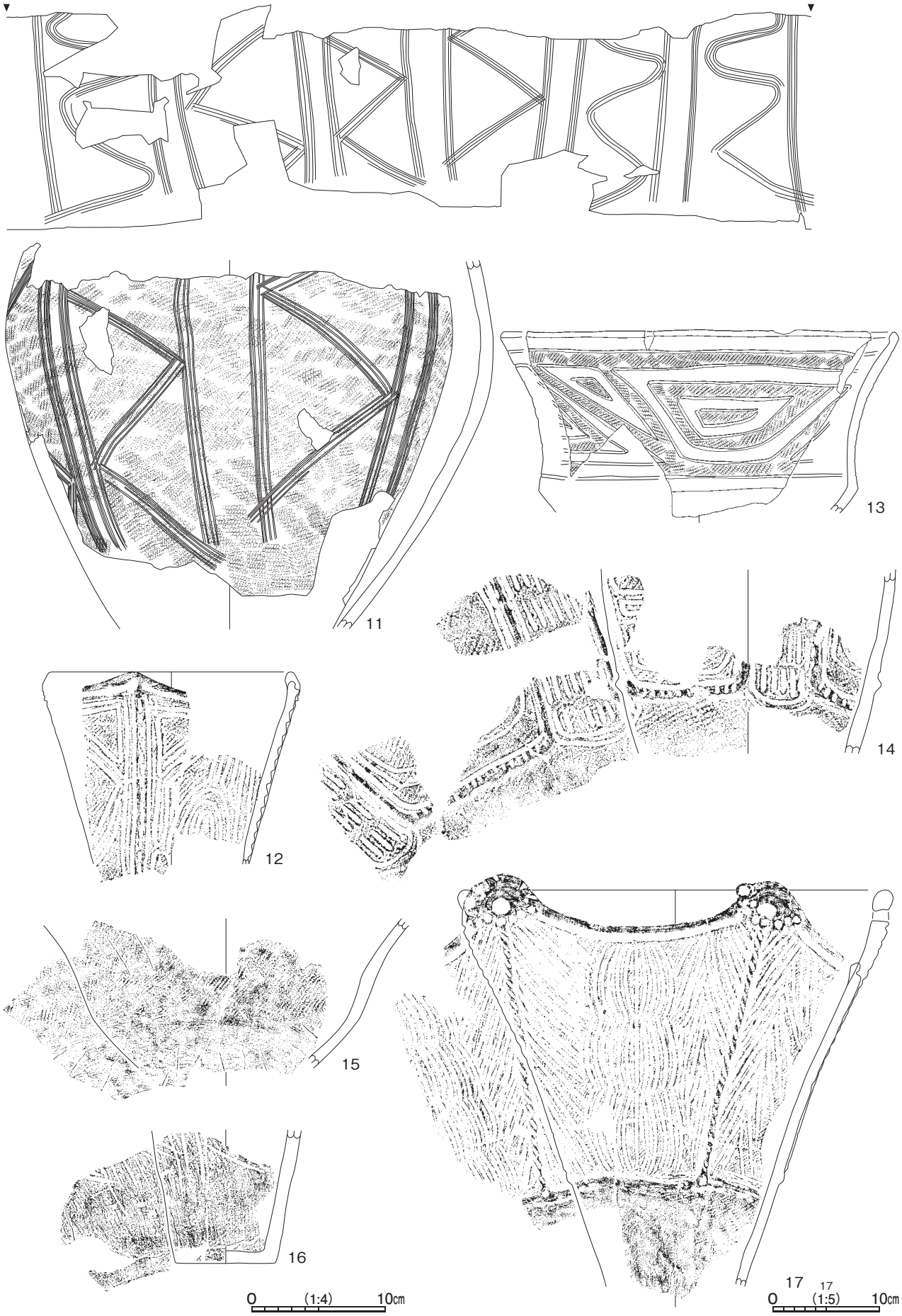
番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	［35.2］	（24.7）	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	４単位の波状口縁　RL →蕨手状懸垂文	２区１ｘ	30%　PL ３
2	縄文土器	深鉢	［10.0］	（11.6）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に沈線　口縁部凹線　体部無節Ｌ→楕円文+懸垂文	２区１ｘ	40%　PL ３
3	縄文土器	深鉢	［30.2］	（20.8）	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	頸部３本沈線の区画文　LR 縄文→体部蕨手状懸垂文	覆土中	20%　PL ３
4	縄文土器	深鉢	［15.0］	（6.7）	－	長石・石英	褐	普通	口縁部無文　頸部ボタン状貼付文　体部懸垂文	１区１ｘ	10%　PL ４
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	LR →Ｊ字状の磨消縄文	ピット内	PL ４
6	縄文土器	深鉢	［32.6］	（8.1）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部に窩紋連携沈文　波頂部下の頸部に対弧文	ピット内	10%
7	縄文土器	深鉢	－	（15.3）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR →横位に連携する蕨手文→磨消	ピット内	20%　PL ３
8	縄文土器	深鉢	－	（21.4）	－	長石・石英・雲母・細礫	にぶい褐	普通	口縁部に無文帯　体部無節Ｌ→懸垂文	１区１ｘ２区１ｘ	10%
9	縄文土器	深鉢	－	（9.8）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐	普通	RL →縦位沈線・蛇行沈線	１区１ｘ	10%
10	縄文土器	深鉢	－	（24.6）	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	地文無節Ｌ　３本１単位の縦位区画と区画内斜線文	覆土中	20%
11	縄文土器	深鉢	－	（27.5）	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	LR 地縄文→縦位区画文と連続三角文　一部蛇行文	覆土中	60%　PL ３
12	縄文土器	深鉢	［18.0］	（14.3）	－	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	LR 地縄文→区画内斜行沈線・渦巻き文	１区１ｘ	PL ４
13	縄文土器	鉢	［29.4］	（13.5）	－	長石・石英	灰褐	普通	LR 充填縄文による交互三角形文　一部菱形	１区１ｘ	40%　PL ３
14	縄文土器	深鉢	－	（14.0）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR →隆帯による区画→区画内集合沈線	覆土中	10%　PL ３
15	縄文土器	鉢	－	（11.2）	－	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	体部上半 LR　下半磨き　内面磨き	１区１ｘ	20%　PL ３
16	縄文土器	深鉢	－	（10.0）	7.5	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	地縄文　集合沈線による連続三角文	覆土中	
17	縄文土器	深鉢	［39.0］	（37.4）	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	地縄文 LR →集合沈線による縦位の斜線文と弧線文	２区１ｘ	10%　PL ３
18	縄文土器	注口	8.0～14.6	（14.2）	－	長石・石英	にぶい橙	普通	RL 地縄文→２本１単位のＵ字文	２区１ｘ	80%　PL ３
19	縄文土器	注口	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	把手部にＳ字文　体部窩紋連携沈文による文様	覆土中	PL ３
20	縄文土器	注口ヵ	－	（5.5）	－	長石・石英・赤色粒子・細礫	にぶい橙	普通	体部 RL →蛇行沈線文　浮文連携斜線文	２区１ｘ	10%　PL ４
21	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR 地縄文→蕨手状懸垂文	１区１ｘ	PL ４
22	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	口縁部無文帯　体部 LR →蕨手状懸垂文　P23 と同一	１区１ｘ	PL ４
23	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口縁部無文帯　体部 LR →斜行懸垂文　P22 と同一	ピット内	PL ４
24	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	無節Ｌ→蕨手状懸垂文	２区１ｘ	
25	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部に窩紋連携沈文　LR →蕨手状懸垂文	床面	
26	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・細礫	にぶい黄橙	普通	口縁部無文帯　表裏に凹点のある突起部から押圧のある隆帯	覆土中	PL ４
27	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・細礫	にぶい橙	普通	口縁部無文帯　波頂部下押圧隆帯	１区１ｘ	
28	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部狭い無文帯　波頂部下に３段の凹線　LR →蕨手状懸垂文	１区１ｘ	
29	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部に窩紋連携沈文　無節Ｌ→蕨手状懸垂文	１区１ｘ	
30	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	LR 地縄文	１区１ｘ	PL ４
31	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰褐	普通	RL →集合沈線による懸垂文と斜行充填文	２区１ｘ	
32	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	黒褐	普通	LR →蕨手状懸垂文	２区１ｘ	PL ４
33	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR →頸部区画文　窩紋隆帯	２区１ｘ	
34	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・細礫	浅黄橙	普通	LR →半截竹管による集合沈線	１区１ｘ	
35	縄文土器	深鉢	－	（24.4）	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	無節Ｌ→縦位区画→区画内連続三角文	２区１ｘ	20%
36	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	地縄文 RL →区画沈線文	覆土中	PL ４
37	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	LR →集合沈線文	覆土中	
38	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	半截竹管による格子目文	２区１ｘ	PL ４
39	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面磨き　口縁部内面窩紋連携沈文	１区１ｘ	
40	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	LR 地縄文→縦位区画・区画内刺突文	１区１ｘ	PL ４

番号	器　種	径	幅	厚さ	重量	胎　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
41	有孔円盤	［5.6］	－	1.0	12.70	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	RL 縄文施文の深鉢体部片利用　周縁研磨	覆土中	

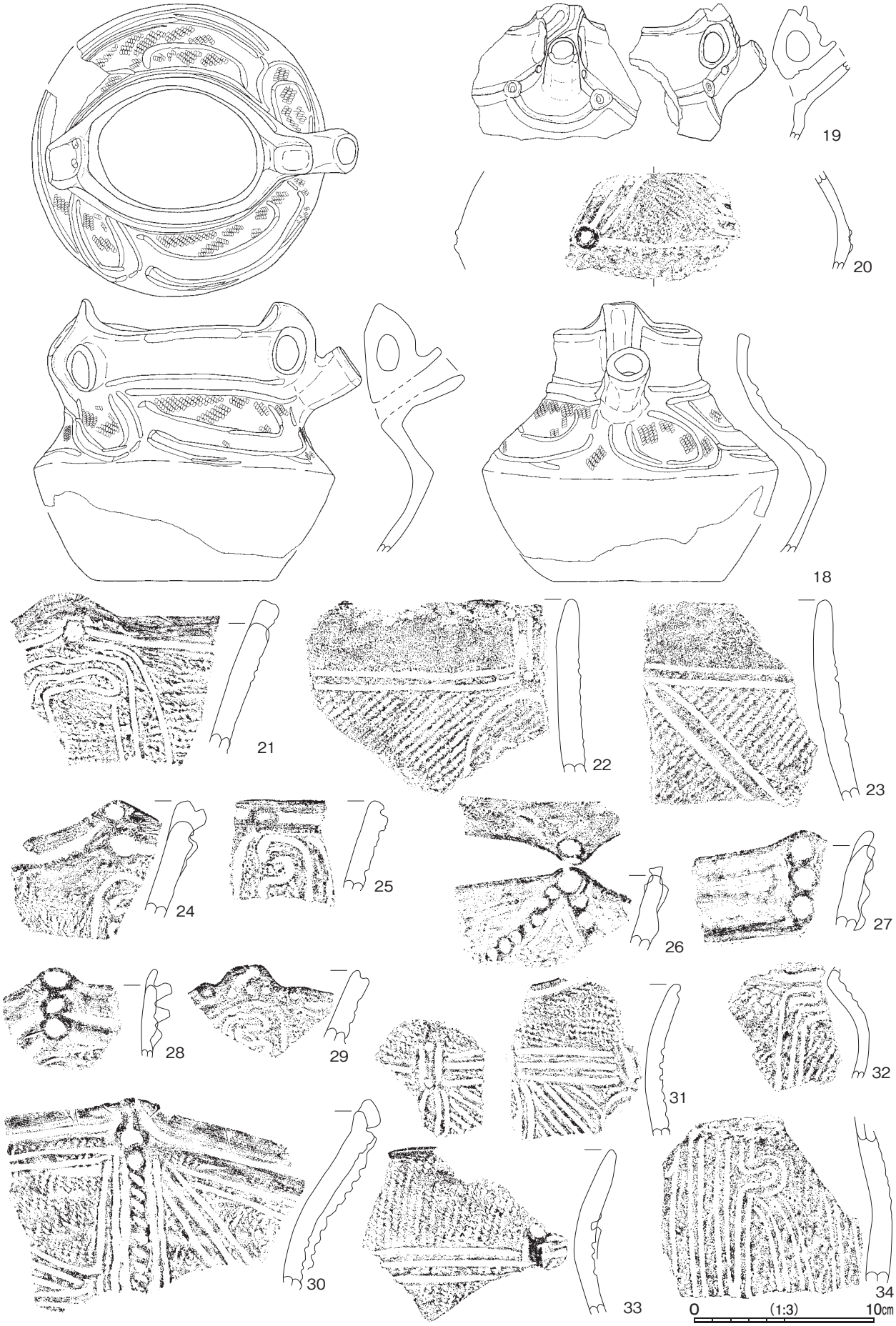
番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
42	石皿	（20.0）	（12.4）	5.4	1079.24	安山岩	有縁　表裏に凹み　被熱により煤付着	覆土中	PL ５
43	凹石	（8.8）	5.3	4.6	304.33	安山岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　磨→凹　敲打痕	１区１ｘ	
44	凹石	（9.5）	6.0	3.5	270.14	安山岩	表裏・側面ざらつきのある磨り面　凹→磨	覆土中	
45	凹石	8.4	4.6	3.9	225.40	安山岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　凹→磨　敲打痕	１区１ｘ	



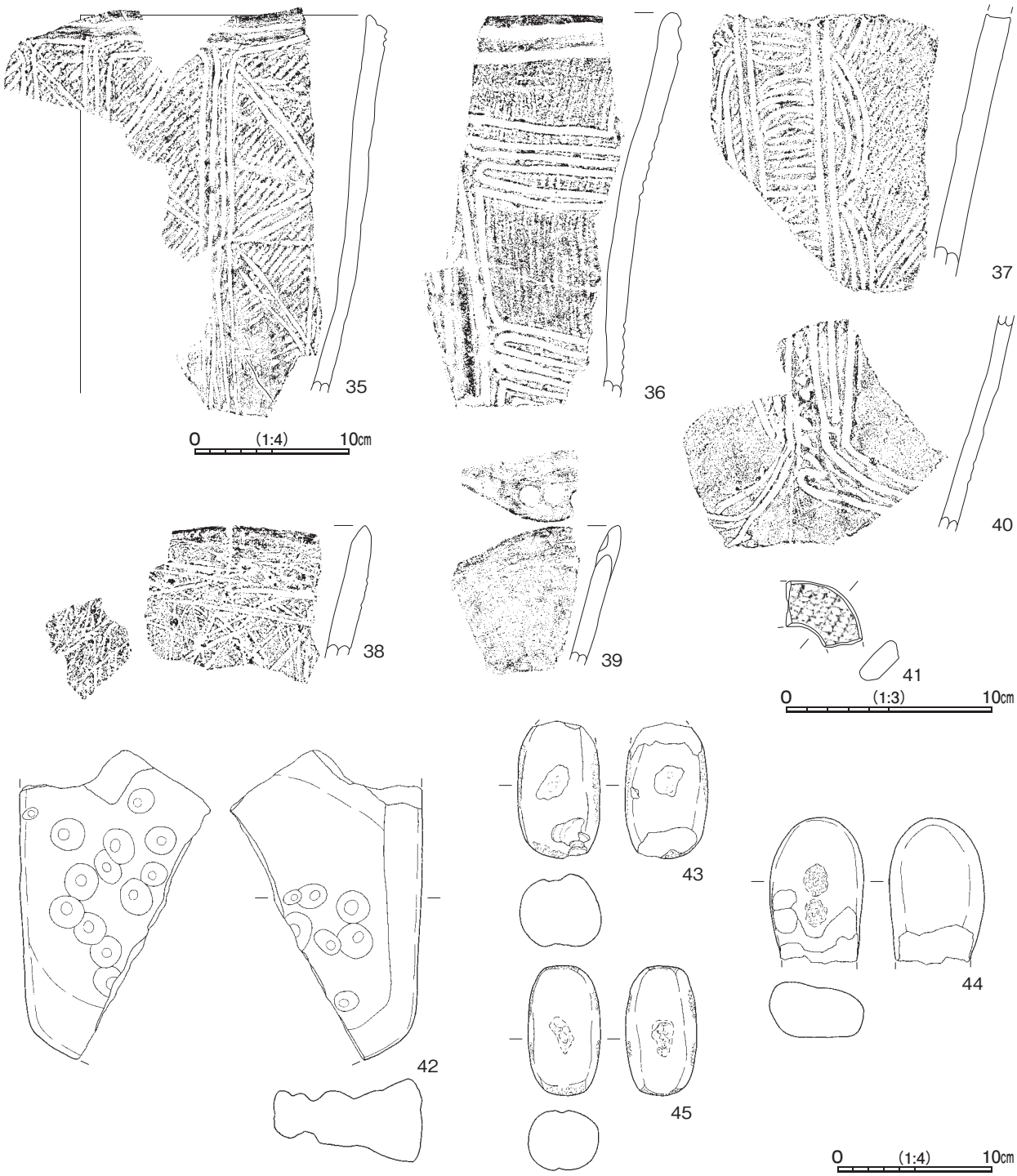
第 12 図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（１）



第13図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（２）



第 14 図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（３）



第 15 図　第５号竪穴建物跡出土遺物実測図（４）

第６号竪穴建物跡（第 16 図）

位置　調査区中央部のＧ３b8 区，標高 26 mほどの台地上に位置している。

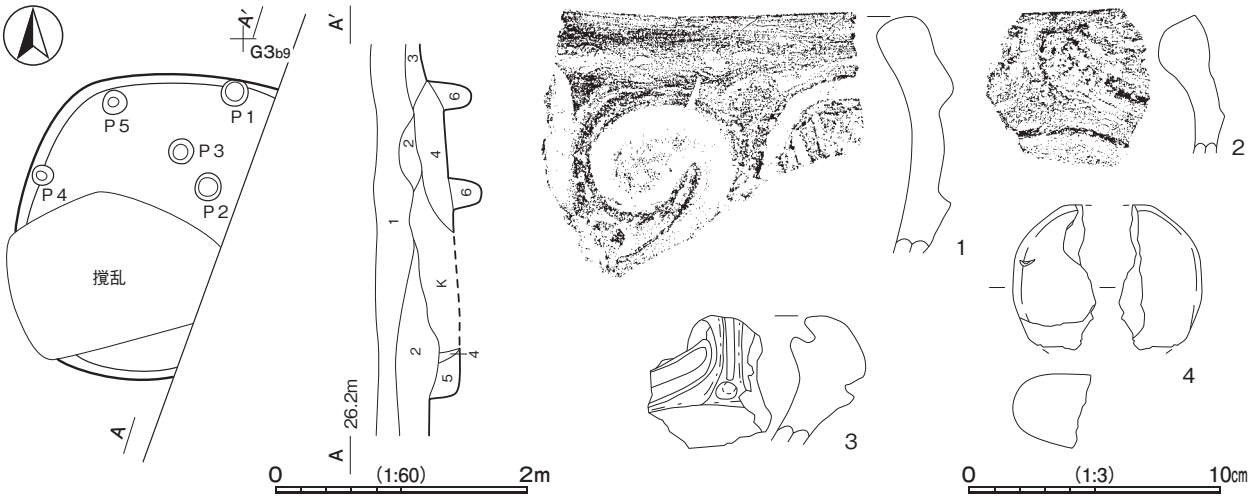
規模と形状　東部は調査区域外のため，南北径 2.50 mで，東西径は 1.62 mしか確認できなかった。平面形は円形あるいは楕円形と推定される。壁は高さ 24cmでほぼ直立している。

床　ほぼ平坦である。硬化面は確認できなかった。

ピット　５か所。深さ 10 ～ 33cmほどのピットでＰ１・Ｐ４・Ｐ５は壁際に位置することから，壁柱穴と考えられる。出入口ピットは確認できなかった。

第８表　第６号竪穴建物跡　ピット深度

番号	Ｐ１	Ｐ２	Ｐ３	Ｐ４	Ｐ５
深さ（cm）	10	24	14	28	33



土層解説
1　7.5YR2/2　黒褐　ローム粒Ｄ，焼土粒Ｄ，炭化粒Ｄ／粘Ｂ，締Ａ
2　7.5YR2/1　黒褐　焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
3　7.5YR4/6　褐　ローム小Ｂ・粒Ｃ，焼土小Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
4　7.5YR3/4　暗褐　ローム粒Ｄ，焼土粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ
5　7.5YR4/4　褐　ローム粒Ｂ／粘Ｂ，締Ｂ
6　7.5YR2/1　黒褐　ローム粒Ｄ／粘Ｂ，締Ｂ（ピットＰ１・Ｐ２覆土）

第 16 図　第６号竪穴建物跡・出土遺物実測図

覆土　２層に分層できる。撹乱を受けており，堆積状況は不明である。第１～３層は古墳時代の表土と考えられる。第６層はピットに関する覆土である。

遺物出土状況　縄文土器片 43 点（1,839 ｇ），石器３点（石皿１，磨石２）が出土している。

所見　時期は，加曽利ＥⅢ式の土器が比較的多く出土することから，加曽利ＥⅢ式期と考えられる。

第９表　第６号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 16 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・細礫	にぶい黄褐	普通	口縁部枠内沈線充填→隆帯脇沈線	覆土中	PL ５
2	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・細礫	浅黄橙	普通	微隆起帯による逆Ｕ字文	覆土中	PL ５
3	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部短く屈曲　波頂部に窩紋連携沈文	覆土中	PL ５

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
4	磨石	(5.8)	(3.3)	(2.9)	61.97	流紋岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　被熱	覆土中	

第 10 表　縄文時代竪穴建物跡一覧

番号	位 置	長径方向	平面形	規　模	壁 高	床面	壁溝	内　部　施　設					覆土	主な出土遺物	時　期	備　考
				長軸×短軸（m）	(cm)			主柱穴	出入口	ピット	炉	貯蔵穴				
3	Ｇ３f7	－	円形・楕円形	2.81　×（1.85）	20	ほぼ平坦	－	－	－	－	－	－	自然	縄文土器，礫	中期後半	
4	Ｇ３f6	Ｎ－ 55°－Ｅ	楕円形	7.11　×　5.37	５～ 10	ほぼ平坦	－	－	－	11	1	－	人為	縄文土器，土製品，石器，石製品	晩期中葉	SK ２→本跡→ SK １
5	Ｇ３h5	－	円形	5.45　×　5.12	10 ～ 30	ほぼ平坦	－	－	－	14	1	－	人為	縄文土器，土製品，石器，礫	後期前葉	本跡→ SK ６
6	Ｇ３b8	－	円形・楕円形	2.50　×（1.62）	24	ほぼ平坦	－	－	－	5	－	－	不明	縄文土器，石器	中期後半	

(2)　土坑

第１号土坑（第６・17 図　PL ２）

位置　調査区のＧ３e6 区，標高 25 ｍほどの台地上に位置している。

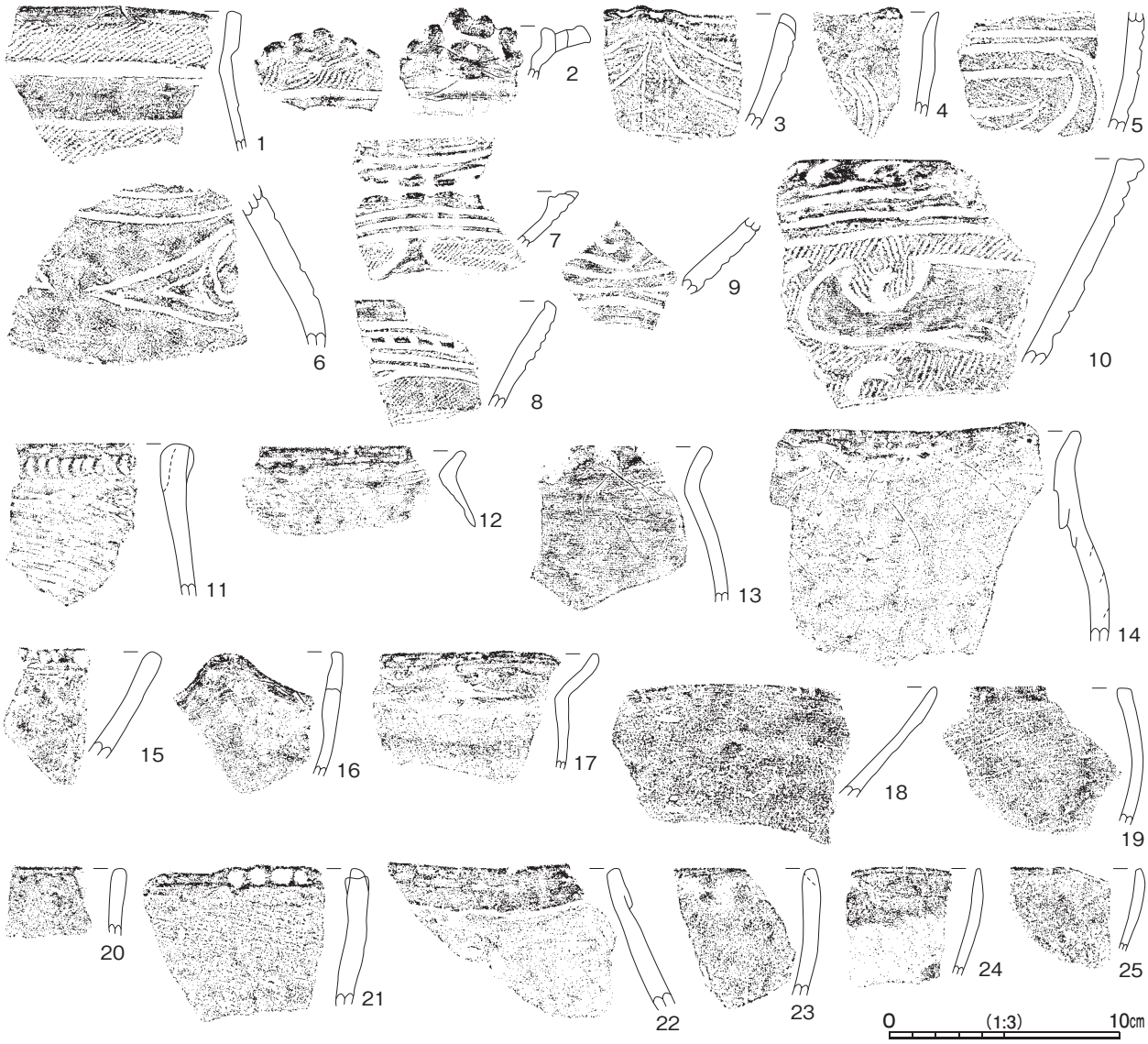
重複関係　第４号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径 1.31 ｍ，短径 1.06 ｍの楕円形で，長径方向はＮ－ 79°－Ｅである。深さは 79㎝で，壁は外傾して立ち上がっている。底面は平坦である。

覆土　２層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。

遺物出土状況　縄文土器片 281 点（6,078 ｇ），石器２点（石皿），焼成粘土塊１点（16.32 ｇ），焼骨片１点が出土している。

所見　時期は，出土土器から安行３ｃ式から安行３ｄ式期と考えられる。



第 17 図　第 1 号土坑出土遺物実測図

第 11 表　第 1 号土坑出土遺物一覧（1）（第 17 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい褐	普通	口縁部 LR 隆起帯縄文　頸部 LR 充填磨消縄文	覆土中	PL 5
2	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁波頂部に B 突起　外屈する LR 縄文帯	覆土中	PL 5
3	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口縁波頂部に突起　充填刺突文による弧線文	覆土中	PL 5
4	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口唇部摘みだし状　多重沈線による弧線文	覆土中	
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	深い抉りのある沈線による枠状文	覆土中	PL 5
6	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	広口壺状　菱形区画内に抉りのある三叉文	覆土中	PL 5
7	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	LR 充填の雲形文	覆土中	PL 5
8	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	口縁部二溝間の截痕　体部 LR 充填の雲形文	覆土中	PL 5
9	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	無節 L 充填のの字文	覆土中	PL 5
10	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部に弧線文　体部無節 L 充填の雲形文	覆土中	PL 5
11	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	外面頸部条線→紐線貼付	覆土中	
12	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	広口壺状　外・内面粗い磨き	覆土中	
13	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	外・内面磨き	覆土中	
14	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	広口壺状　外・内面ナデ　輪積み痕明瞭	覆土中	
15	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	外・内面磨き	覆土中	
16	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	山形状の波状口縁　外・内面ナデ	覆土中	
17	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外・内面ナデ	覆土中	
18	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	外・内面粗い磨き	覆土中	
19	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面削り　内面ナデ	覆土中	
20	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口唇部カット　外面削り　内面ナデ	覆土中	
21	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・礫	橙	普通	口唇部凹み　外面削り　内面ナデ	覆土中	
22	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	外・内面ナデ	覆土中	

第 12 表　第１号土坑出土遺物一覧（２）（第 17 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
23	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部に指頭圧痕　外・内面ナデ	覆土中	
24	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口唇部カット　外面削り　内面ナデ	覆土中	
25	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内削ぎ状　外面削り　内面ナデ	覆土中	

第２号土坑（第６・18 図）

位置　調査区のＧ３f5 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

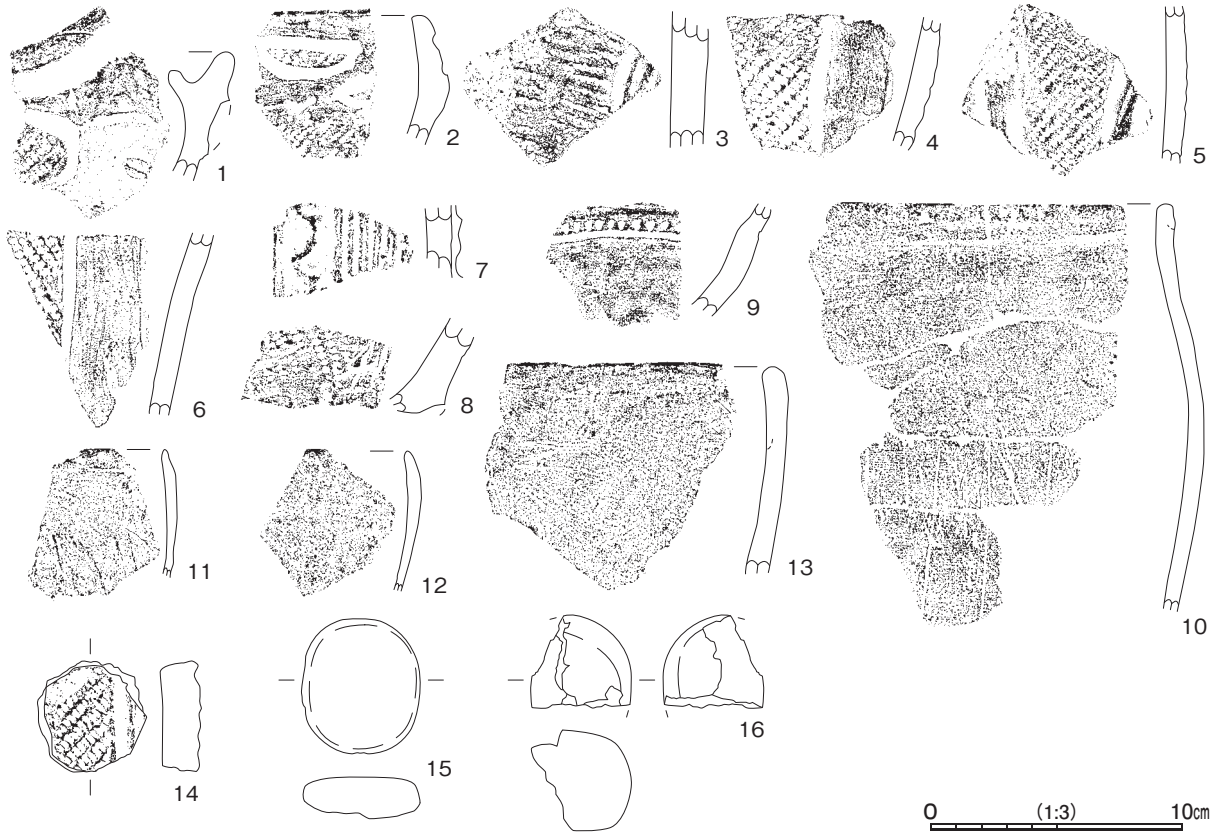
重複関係　第４号竪穴建物に掘り込まれている。

規模と形状　長径 1.18 m，短径 1.15 mの円形である。深さは 85㎝で，壁は外傾して立ち上がっている。底面は平坦である。

覆土　９層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。

遺物出土状況　縄文土器片 95 点（2,022 ｇ），土製品１点（土器片円盤），石器４点（石核１，磨石３），石製品１点（石棒），焼成粘土塊１点（3.35 ｇ）が出土している。

所見　時期は，時期判断可能な土器のうち，加曽利ＥⅢ式が 75％ほどであり，また，重複関係からも加曽利ＥⅢ式期と考えられる。



第 18 図　第２号土坑出土遺物実測図

第 13 表　第２号土坑出土遺物一覧（１）（第 18 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	楕円形区画内 LR 縄文	覆土中	PL ５
2	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	口縁部 RL →楕円形区画　隆帯脇沈線　体部 RL	覆土中	PL ５
3	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・礫	にぶい黄褐	普通	無節 L →沈線文	覆土中	
4	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・細礫	橙	普通	RL →沈線　磨消	覆土中	
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	RL →隆帯文	覆土中	
6	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR →沈線　磨消	覆土中	PL ５
7	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部半截竹管による縦位沈線→波状隆帯	覆土中	PL ５

第 14 表　第２号土坑出土遺物一覧（２）（第 18 図）

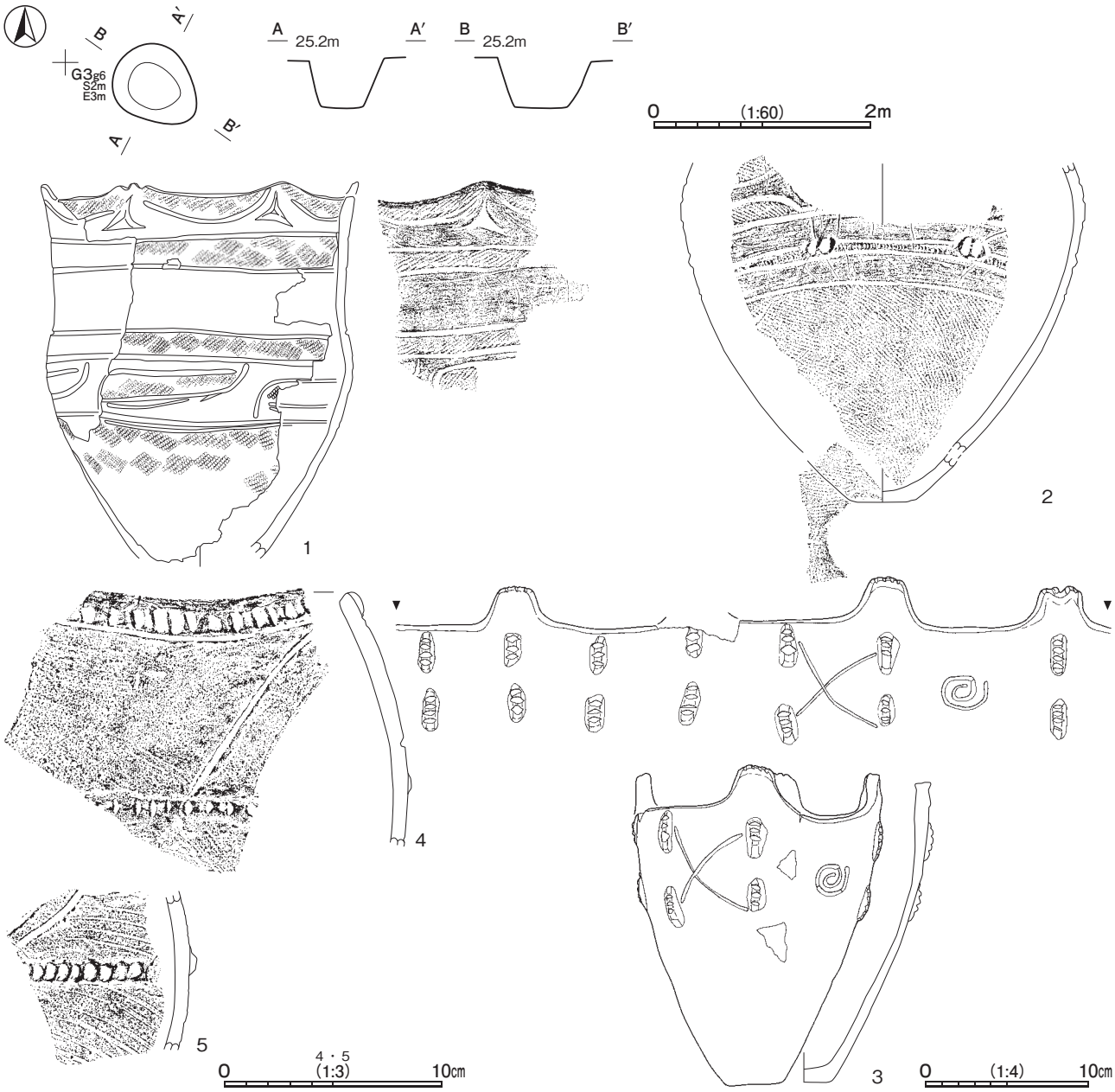
番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
8	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部 RL　縦位の垂下磨消縄文	覆土中	
9	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	屈曲部に充填刺突文	覆土中	PL 5
10	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・礫	明赤褐	普通	付帯部ナデ　体部外面削り　内面ナデ	覆土中	PL 5
11	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母	黒褐	普通	口唇部摘みだし状　外面削り　内面ナデ	覆土中	PL 5
12	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口唇部摘みだし状　外面削り　内面ナデ	覆土中	PL 5
13	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外面削り　内面ナデ	覆土中	PL 5

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	胎　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
14	土器片円盤	4.3	4.4	1.6	32.33	長石・石英・雲母	橙	加曽利ＥⅠ・Ⅱ式深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	覆土中	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　質	特　　徴	出土位置	備　考
15	磨石	5.4	4.7	(1.3)	67.45	安山岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　被熱	覆土中	
16	磨石	(3.7)	(4.0)	(4.0)	61.06	流紋岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面　被熱	覆土中	

第５号土坑（第 19 図　PL ２）

位置　調査区のＧ３g7 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。



第 19 図　第５号土坑・出土遺物実測図

規模と形状　長径 0.87 m，短径 0.70 mの楕円形で，長径方向はN－ 55°－ W である。深さは 45cmで，壁はほぼ直立している。底面は平坦である。

覆土　遺存状態が悪いため，堆積状況は不明である。

遺物出土状況　縄文土器片 51 点（2,525 g）が出土している。

所見　１～３は時期幅が見られるが，３がほぼ完形であることから，本跡の最終時期は安行３ｃ式期である。

第 15 表　第５号土坑出土遺物一覧（第 19 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	[18.8]	(22.1)	－	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	口縁部 LR 充填の弧線文と独立した三叉文	覆土中	40%　PL ３
2	縄文土器	深鉢	－	(20.8)	3.2	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	頸部隆帯上に刻み　RL 磨消縄文　体部 RL	覆土中	20%
3	縄文土器	深鉢	[15.0]	20.1	3.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	4 単位の波状口縁　波頂部刻み　波頂・波底部に 2 段の縦長瘤	覆土中	90%　PL ３
4	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	紐線貼付→頸部区画文　体部条線	覆土中	
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	条線→紐線貼付　頸部区画文	覆土中	

第 16 表　縄文時代土坑一覧

番号	位 置	長径方向	平 面 形	規　模		壁　面	底　面	覆　土	主 な 出 土 遺 物	備　考
				長径×短径（m）	深さ（cm）					
1	G３e6	N－ 79°－ E	楕円形	1.31 × 1.06	79	外傾	平坦	人為	縄文土器，石器	SI ４→本跡
2	G３f5	－	円形	1.18 × 1.15	85	外傾	平坦	人為	縄文土器，土製品，石器，石製品	本跡→ SI ４
5	G３g7	N－ 55°－ W	楕円形	0.87 × 0.70	45	ほぼ直立	平坦	－	縄文土器	

２　古墳時代の遺構と遺物

当時代の遺構は，竪穴建物跡１棟を確認した。以下，遺構及び遺物について記述する。

第２号竪穴建物跡（第 20・21 図　PL １）

位置　調査区西部のＧ３d8 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

規模と形状　長軸 8.41 m，短軸 8.38 mの方形で，主軸方向はN－ 23°－Wである。壁は高さ 18 ～ 36cmで外傾している。

床　平坦で，硬化面は確認できなかった。間仕切溝を，西壁から中央に向かって１条確認した。

竈　北壁中央部に付設されている。規模は焚口部から煙道部まで 144cmで，燃焼部幅は 48cmである。両袖部の床面から，土師器の甕８・９が出土しており，これらは竈の芯材として転用されている。火床部は床面とほぼ同じ高さを使用しており，火床面は火熱を受けて赤変している。煙道部は壁外に 32cmほど掘り込まれ，火床部から外傾して立ち上がっている。

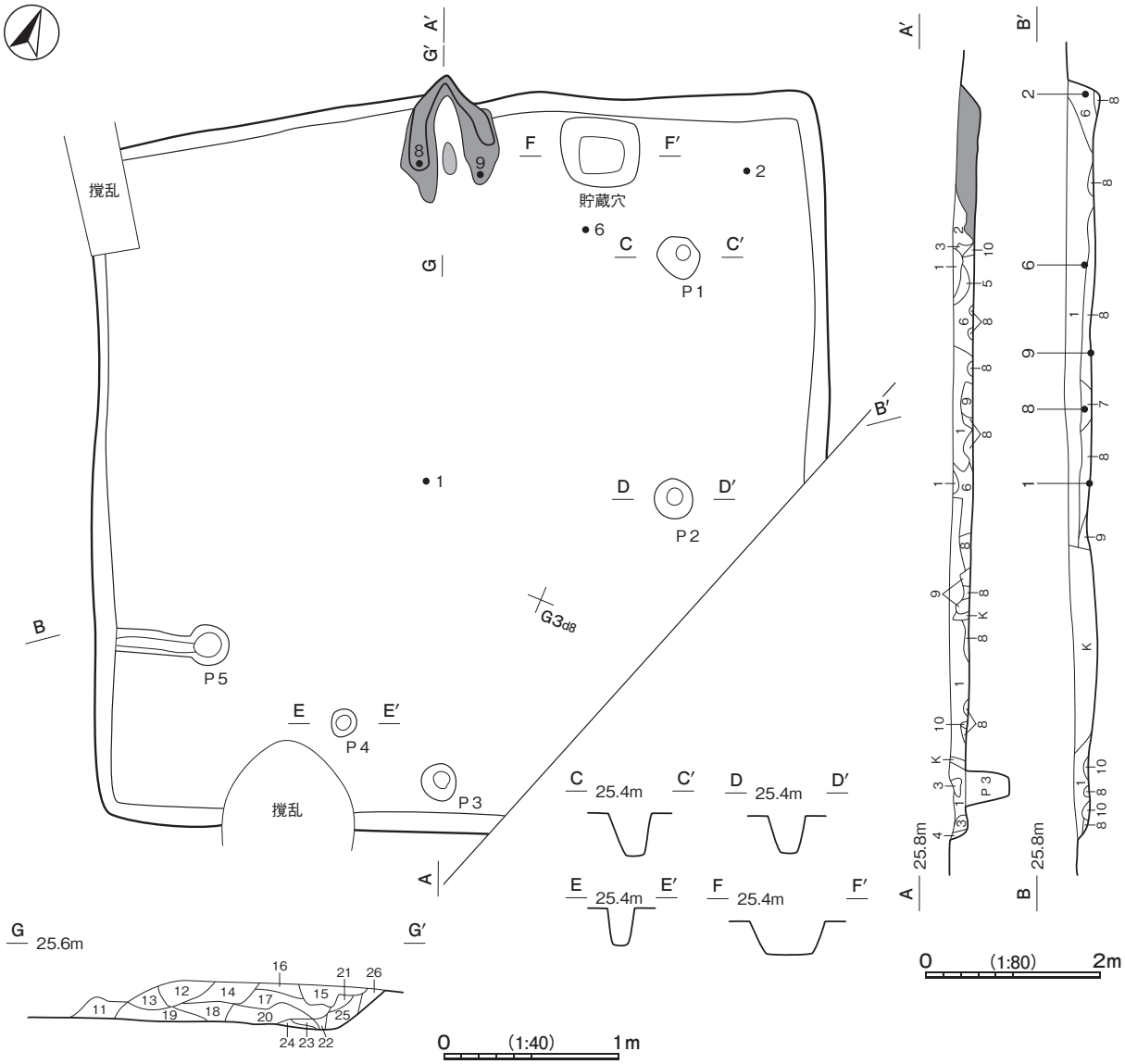
ピット　５か所。Ｐ１・Ｐ２は深さ 50・40cmで，規模と配置から主柱穴である。Ｐ３は深さ 50cm で，南壁際中央に位置しており，出入口施設に伴うピットである。Ｐ５は間仕切りピットである。Ｐ４は深さ 40cm で性格不明である。

貯蔵穴　竈の東側に位置している。長軸 90cm，短軸 80cmの不整長方形で，深さ 40cmである。底面は平坦で，壁は外傾している。覆土の状況は確認できなかった。

覆土　26 層に分層できる。不規則な堆積状況を示していることから，人為堆積である。第 11 ～ 26 層は竈に関する覆土である。

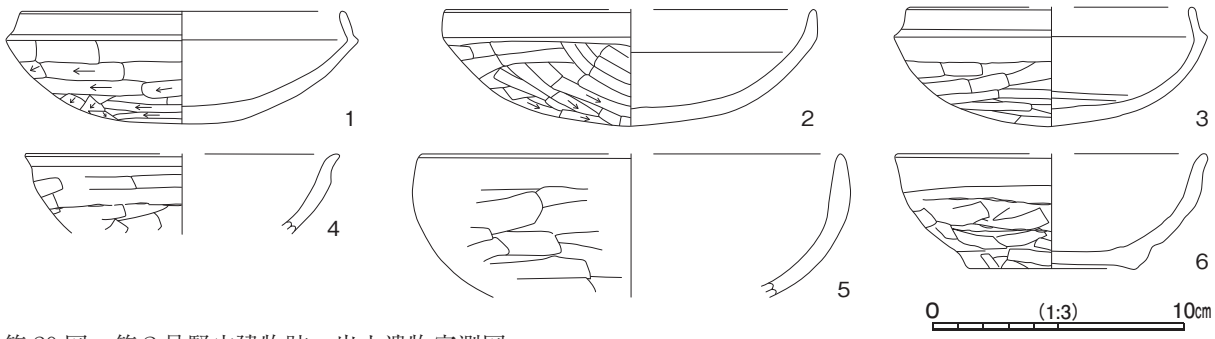
遺物出土状況　土師器片 402 点（坏 12，高坏１，小型鉢１，壺１，甕 384，手捏土器３），石器２点（砥石），鉄滓のほか，混入した縄文土器片，陶器片，土製品，石器，石製品が出土している。１は中央部床面から，２は北東コーナ部前，６は貯蔵穴の南側の覆土中層から，８は横位で竈の左袖部中，９は正位で竈の右袖部中からそれぞれ出土している。

所見　時期は，出土土器から６世紀後葉に比定できる。

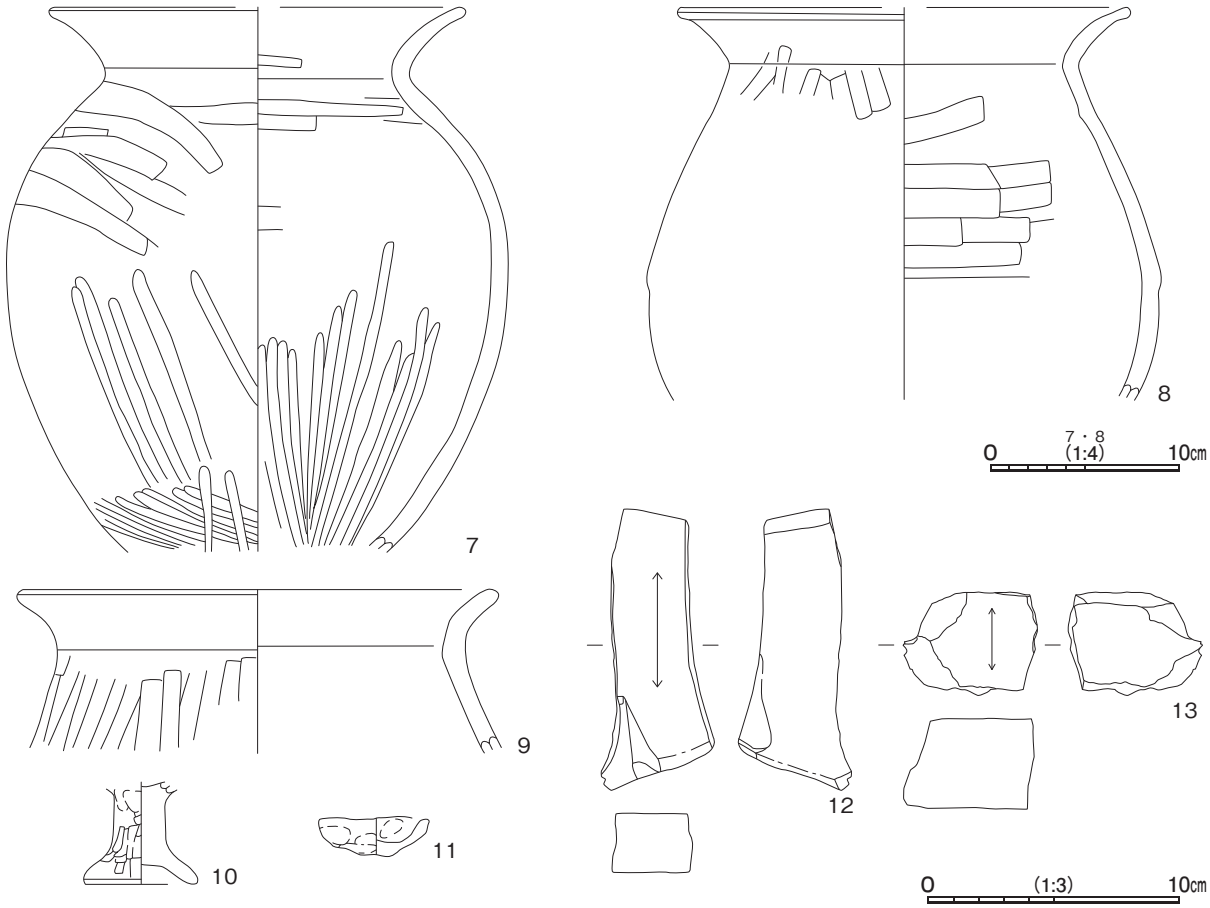


土層解説

1	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒 D ／粘 B，締 B
2	7.5YR2/2	黒褐	ローム粒 D，粘土粒 D ／粘 B，締 B
3	7.5YR4/6	褐	ローム粒 B ／粘 B，締 C
4	7.5YR4/4	褐	ローム粒 C ／粘 B，締 B
5	7.5YR3/2	黒褐	ローム小 D・粒 D，焼土粒 D，粘土粒 D ／粘 B，締 B
6	7.5YR4/3	褐	ローム小 D・粒 C ／粘 B，締 B
7	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒 D，焼土粒 D，粘土粒 D ／粘 B，締 B
8	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒 D，焼土粒 D ／粘 B，締 B
9	7.5YR3/2	黒褐	ローム粒 D，焼土粒 D，粘土粒 D ／粘 B，締 B
10	7.5YR5/6	明褐	ローム粒 A ／粘 C，締 C
11	7.5YR4/1	褐灰	粘土粒 B ／粘 B，締 B（竈覆土）
12	7.5YR4/1	褐灰	粘土粒 C ／粘 B，締 C（竈覆土）
13	7.5YR4/1	褐灰	焼土粒 D，粘土粒 B ／粘 B，締 B（竈覆土）
14	7.5YR5/2	灰褐	粘土粒 B ／粘 A，締 B（竈覆土）
15	5 YR5/3	にぶい赤褐	ローム粒 D，焼土小 C・粒 C ／粘 C，締 C（竈覆土）
16	7.5YR6/1	褐灰	焼土粒 D，粘土粒 B ／粘 A，締 B（竈覆土）
17	7.5YR4/1	褐灰	粘土粒 C ／粘 B，締 B（竈覆土）
18	7.5YR3/1	黒褐	焼土粒 C，粘土粒 C ／粘 B，締 B（竈覆土）
19	7.5YR4/1	褐灰	焼土粒 C，粘土粒 B ／粘 B，締 B（竈覆土）
20	5 YR4/4	にぶい褐	焼土粒 B ／粘 C，締 C（竈覆土）
21	7.5YR5/3	にぶい褐	焼土小 D・粒 C，粘土粒 D ／粘 C，締 C（竈覆土）
22	7.5YR5/4	にぶい褐	ローム粒 C ／粘 B，締 B（竈覆土）
23	7.5YR5/3	にぶい褐	焼土小 D・粒 D，粘土粒 D ／粘 C，締 C（竈覆土）
24	7.5YR4/1	褐灰	粘土粒 C ／粘 B，締 C（竈覆土）
25	7.5YR4/2	灰褐	ローム小 D・粒 C，焼土粒 D ／粘 B，締 B（竈覆土）
26	7.5YR4/2	灰褐	ローム粒 C ／粘 B，締 B（竈覆土）



第 20 図　第 2 号竪穴建物跡・出土遺物実測図



第 21 図　第２号竪穴建物跡出土遺物実測図

第 17 表　第２号竪穴建物跡出土遺物一覧（第 20・21 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	土師器	坏	12.6	4.5	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外面ヘラ削り　内面ナデ	床面	85%　PL 6
2	土師器	坏	［14.6］	4.6	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外面ヘラ削り　内面ナデ	覆土中層	60%　PL 6
3	土師器	坏	［11.2］	4.8	－	長石・石英	黒	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面ヘラナデ	覆土中層	20%　PL 6
4	土師器	坏	［12.4］	(3.2)	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部外面横ナデ　体部外面ヘラナデ　内面ナデ	確認面	20%　PL 6
5	土師器	坏	［16.6］	(5.7)	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外面ヘラナデ　内面ナデ	確認面	10%
6	土師器	手捏土器	［12.1］	4.6	6.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外面ヘラナデ　内面ナデ	覆土中層	40%　PL 6
7	土師器	甕	［21.6］	(28.8)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外・内面粗いヘラ磨き	Ｐ３覆土中	40%　PL 6
8	土師器	甕	［23.6］	(20.7)	－	長石・石英・赤色粒子・細礫	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　頸部外面ヘラナデ　内面横位のヘラナデ	竈左袖部中	30%
9	土師器	甕	18.6	(6.5)	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁部外・内面横ナデ　体部外面縦位のヘラナデ	竈右袖部中	10%
10	土師器	手捏土器	－	(4.1)	［4.4］	長石・石英	にぶい橙	普通	体部外面ナデ　高坏	覆土中	40%　PL 6
11	土師器	手捏土器	4.3	1.6	1.4	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	体部外面ナデ	覆土中	90%　PL 6

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
12	砥石	11.2	4.5	2.3	178.17	砂岩	砥面１面	覆土中	
13	砥石	4.1	5.3	3.6	131.17	砂岩	砥面１面	覆土中	

３　時期不明の遺構と遺物

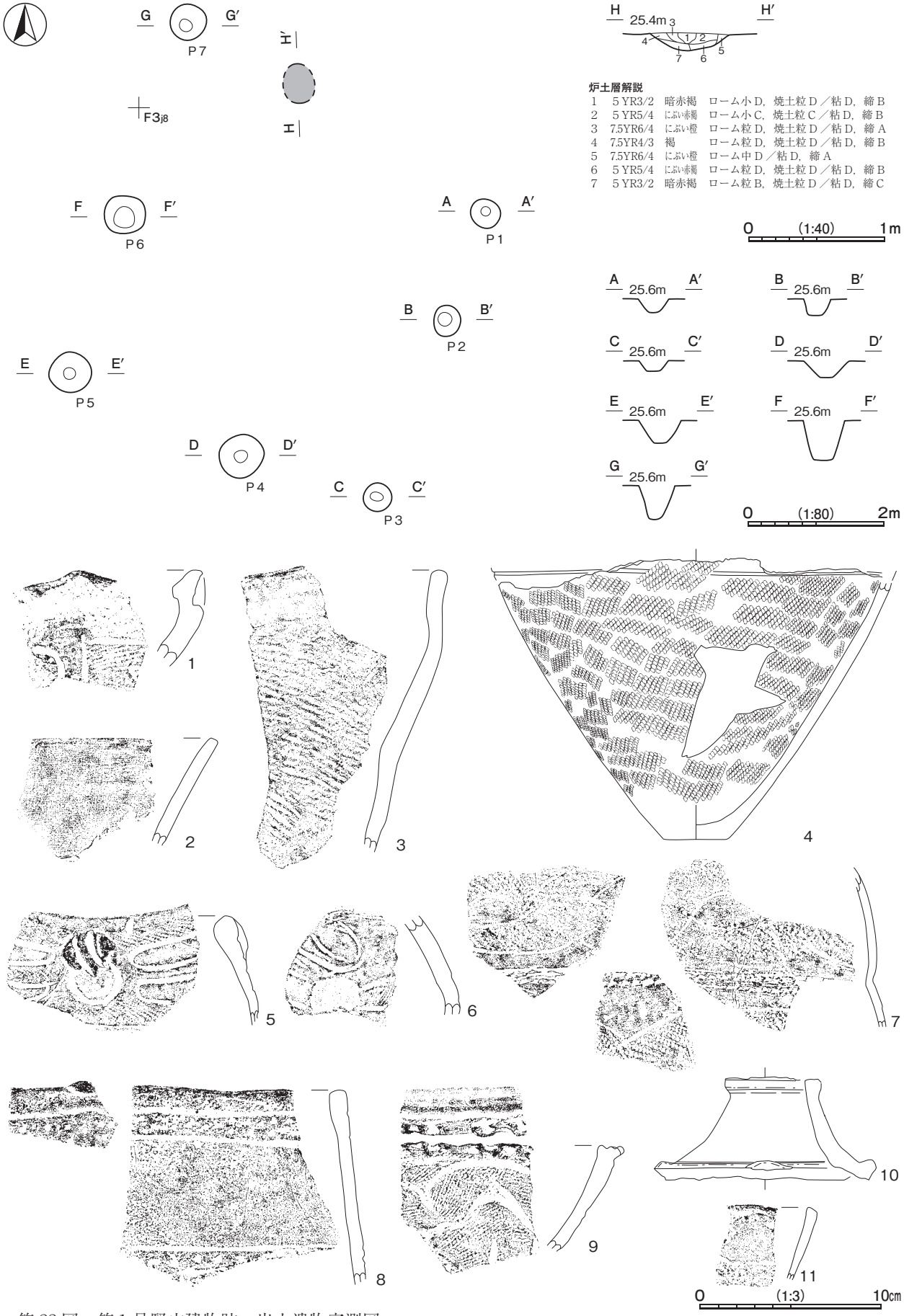
時期不明の遺構は，竪穴建物跡１棟，土坑１基を確認した。以下，遺構と遺物について記述する。

(1)　竪穴建物跡

第１号竪穴建物跡（第 22 図　PL １）

位置　調査区西部のＦ３j8 区，標高 25 mほどの台地上に位置している。

規模と形状　削平のため壁，床面，壁溝を確認できなかったが，炉や柱穴と推定されるピットが認められることから，竪穴建物跡とした。規模と形状は不明である。



第22図　第1号竪穴建物跡・出土遺物実測図

炉　北部に付設されている。規模は長径60cmしか確認できなかった。深さは18cmの地床炉で，炉床面は地山であり，赤変している。

ピット　７か所。Ｐ１～Ｐ７は深さ15～58cmで，柱穴の可能性が考えられるが，詳細は不明である。

遺物出土状況　縄文土器片103点（2,693 g），石器２点（剥片，石皿），石製品１点（石剣ヵ）が出土している。

所見　縄文土器片が多く出土しており，縄文時代の竪穴建物跡の可能性もあるが，明確な時期は不明である。

第18表　第１号竪穴建物跡出土遺物一覧（第22図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・細礫	にぶい黄橙	普通	無節Ｒ充填	確認面	
2	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	外・内面丁寧な磨き	確認面	
3	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	緩い波状　口縁部無文帯　体部無節Ｌ	確認面	
4	縄文土器	深鉢	－	(15.5)	3.6	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部LR縄文	確認面	30%　PL３
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・黒色粒子・赤色粒子	明赤褐	普通	口縁部３段のRL隆起帯縄文　幅広い３列刻みの瘤貼付	確認面	
6	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	広口壺状　無節Ｌ充填　頸部Ｓ字状の入り組み文ヵ	Ｐ３覆土中	
7	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄褐	普通	甕形　頸部RL充填のたすき掛け状入り組み文	確認面	
8	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・頸部に充填刺突文　被熱により表面発泡化	Ｐ７覆土中	
9	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄褐	普通	口唇部沈線とＢ突起　体部抉るような沈線で雲形文　無節Ｌ充填	確認面	
10	縄文土器	壺	－	(5.6)	－	長石・石英・細礫	にぶい黄橙	普通	外面煤の付着顕著（特に上面）	確認面	５%　PL３
11	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口唇部外削ぎ状　外面削り　内面ナデ	確認面	

(2)　土坑

第６号土坑（第11図）

位置　調査区のＧ３h5区，標高25 mほどの台地上に位置している。

重複関係　第５号竪穴建物跡を掘り込んでいる。

規模と形状　長径1.05 m，短径1.03 mの円形である。深さは41cmで，壁は外傾して立ち上がっている。底面は平坦である。

覆土　遺存状態が悪いため，堆積状況は不明である。

所見　時期・性格は，出土遺物がないため不明である。

(3)　遺構外出土遺物（第23～26図）

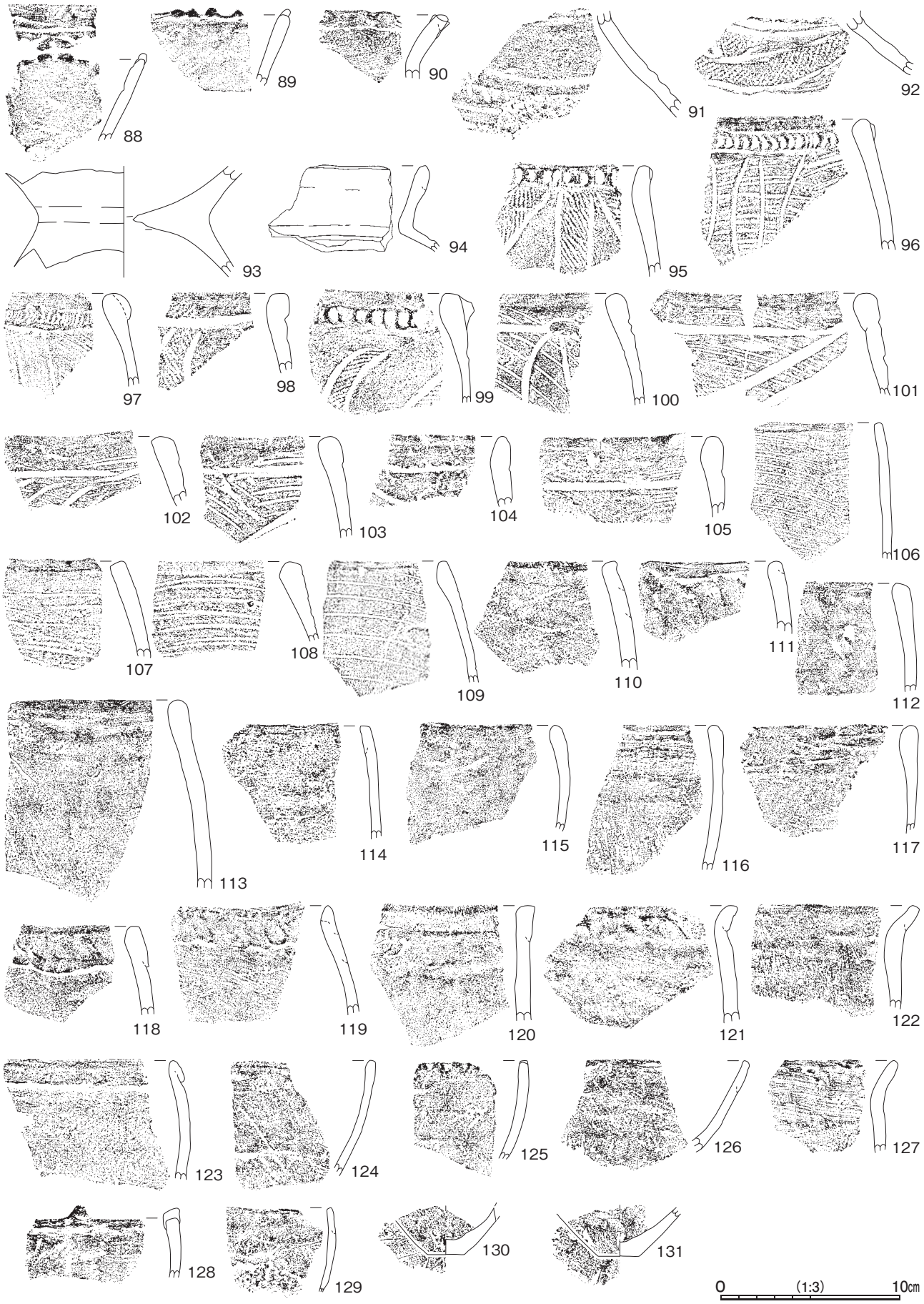
今回の調査で出土した遺構に伴わない遺物について，実測図と出土遺物一覧で記述する。

第19表　遺構外出土遺物一覧（１）（第23図）

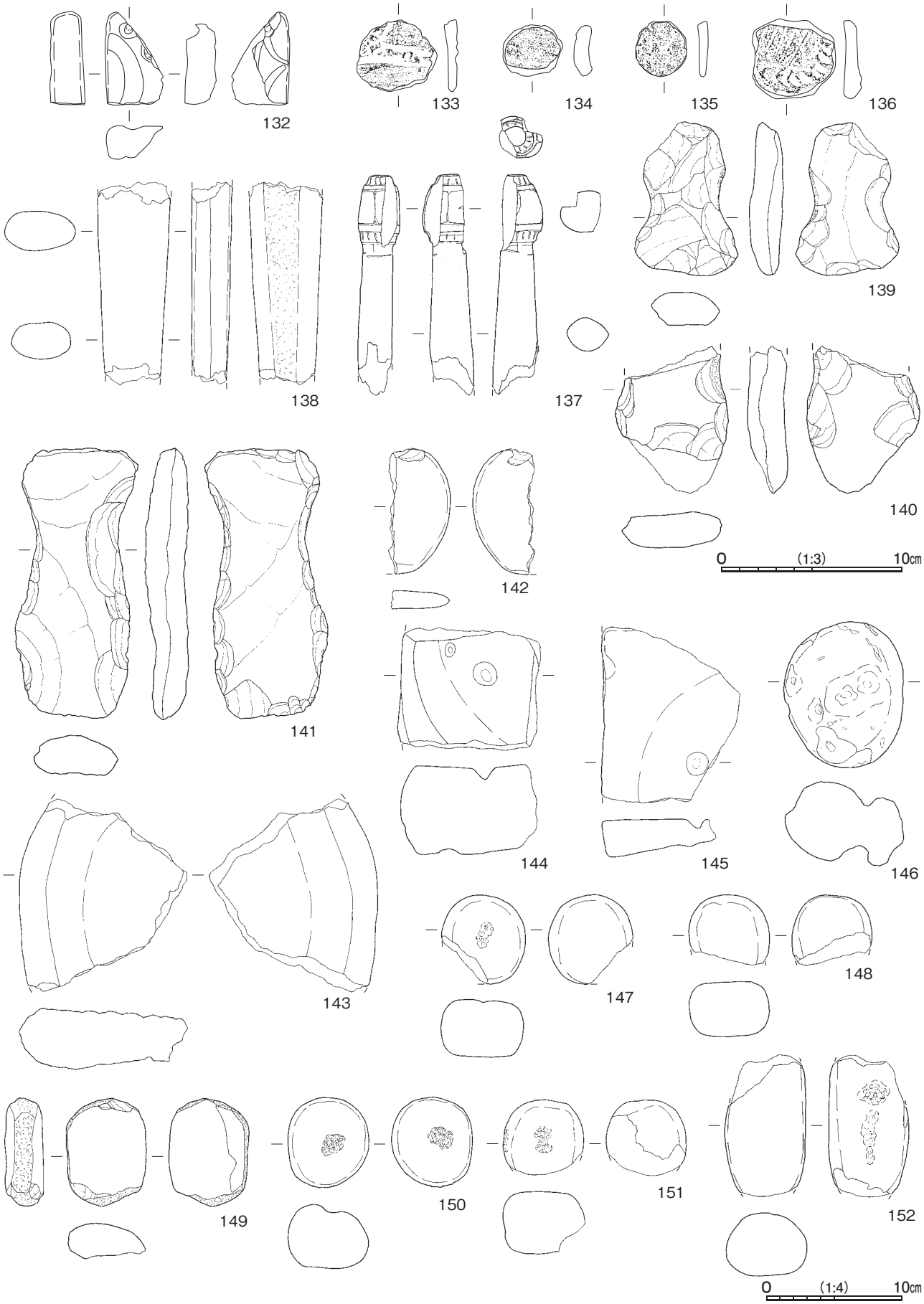
番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
1	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐灰	普通	貝殻波状文	SI２覆土中	
2	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	頸部隆帯による枠状文	SI２４区２x	
3	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	隆帯貼付→RL縄文→隆帯脇沈線	SI２覆土中	
4	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	LR縄文→逆Ｕ字状の磨消	表土	
5	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口縁部に２条の押し引き文　無節Ｌ縄文	表土	
6	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	RL縄文→逆Ｕ字状の磨消縄文	表土	
7	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	RL縄文→縦位の蛇行沈線　磨消縄文	表土	
8	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	RL縄文→沈線→沈線間磨消	SI２覆土中	
9	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部刻み　半截竹管による斜線文	SI２１区２x	
10	縄文土器	注口	－	－	－	長石・石英・雲母	褐灰	普通	LR磨消縄文による三角形文	表土	
11	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口縁部無文帯　窩紋連携沈文のある隆帯	表土	
12	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部外反する無文帯	SI２１区２x	
13	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部無文帯　波頂部に窩紋連携沈文のある隆帯	表土	
14	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	隆帯→RL縄文→半截竹管による斜線文	SI２覆土中	
15	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	口縁突起部から鎖状隆帯　無節Ｌ縄文	SI２４区２x	
16	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	緩い波状　LR縄文充填	表土	

第 23 図　遺構外出土遺物実測図（1）

第 24 図　遺構外出土遺物実測図（2）



第 25 図　遺構外出土遺物実測図（3）



第 26 図　遺構外出土遺物実測図（4）

第20表　遺構外出土遺物一覧（２）（第23・24図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
17	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	RL 縄文→紐線文　頸部に沈線文　内面に凹線	表土	
18	縄文土器	台付鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	隆帯上刻み　頸部条線	SI ２覆土中	
19	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外・内面磨き　口唇部・口縁部外・内面に沈線文	SI ２覆土中	
20	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR 充填の磨消縄文　頸部鎖状隆帯	SI ２覆土中	
21	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部に山形状突起１か所　LR 縄文	表土	
22	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	RL 隆起帯縄文　押圧瘤	表土	
23	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	にぶい黄橙	普通	３段の RL 隆起帯縄文	表土	
24	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	沈線による枠状文　押圧状の瘤	表土	
25	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR 縄文充填　入り組み三叉文ヵ	SI ２覆土中	
26	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	頸部菱形状区画文と蛇行沈線文	表土	
27	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	口縁外反　LR 充填縄文	SI ２覆土中	
28	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	RL 縄文帯　頸部入り組み文ヵ	SI ２覆土中	
29	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	頸部無節 R 充填ののの字文	SI ２覆土中	
30	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部やや肥厚　頸部 RL 充填の入り組み三叉文	SI ２覆土中	
31	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口縁部に押圧瘤　内面に交互弧線文	表土	
32	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい褐	普通	LR 縄文充填　やや隆起　入り組み三叉文	SI ２２区２x	
33	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい褐	普通	RL 隆起帯縄文　波頂部裏面渦巻き状	表土	
34	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	RL 充填の稲妻状磨消縄文	SI ２２区２x	
35	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	灰褐	普通	体部無節 L 充填の菱形状区画文ヵ	SI ２覆土中	
36	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	明赤褐	普通	RL 隆起帯縄文による三角形区画文	SI ２２区２x	
37	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口頸部 LR 充填の三角形区画文　体部入り組み文ヵ	SI ２覆土中	
38	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	波状　口縁部に刺突列　頸部区画文やや隆起	SI ２覆土中	
39	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	LR 充填の菱形区画文	SI ２覆土中	
40	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	浅黄橙	普通	頸部三叉文　体部 LR 縄文	SI ２覆土中	
41	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	波頂部に鉢巻状貼付文　口頸部無節 L 充填の菱形状区画文	SI ２覆土中	
42	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄褐	普通	波状　口頸部区画文内刺突文充填	SI ２覆土中	
43	縄文土器	浅鉢ヵ	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	緩い波状　波頂部に鉢巻状貼付文　頸部菱形状区画文	SI ２覆土中	
44	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	多段の縄文帯　LR 縄文充填	SI ２覆土中	
45	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	無節 L 充填の S 字状入り組み文	SI ２３区１x	
46	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	LR 充填の S 字状入り組み文	SI ２覆土中	
47	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英	明赤褐	普通	緩い波状　無節 L 縄文　波頂部鉢巻状貼付文	SI ２覆土中	
48	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	緩い波状　波頂部に B 突起　外・内面ナデ	SI ２覆土中	
49	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口縁部・頸部に無節 L 充填縄文	SI ２覆土中	
50	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	無節 L の縄文帯	表土	
51	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	黒褐	普通	緩い波状　口縁部内面文様あり	SI ２覆土中	
52	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	摩滅著しい　S 字状入り組み文ヵ	SI ２覆土中	
53	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部・体部に斜線文	SI ２覆土中	
54	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口縁部小波状　内面に沈線　頸部矢羽根状の細密沈線文	SI ２覆土中	
55	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	灰黄褐	普通	多段の細密沈線文	SI ２４区２x	
56	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	体部斜線文充填の帯状文　P57 と同一ヵ	SI ２覆土中	
57	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	にぶい橙	普通	体部斜線文充填　外・内面ナデ	SI ２２区１x	
58	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	2 本 1 単位の沈線による対向弧線文と菱形状区画文	SI ２覆土中	
59	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	沈線による S 字状入り組み文ヵ	SI ２覆土中	
60	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄褐	普通	口唇部に大ぶりな山形状突起	SI ２覆土中	
61	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部に雑な充填刺突文	SI ２覆土中	
62	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	矢羽根状沈線文	SI ２覆土中	
63	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	縦位の沈線文　内面小口状の工具によるナデ	SI ２覆土中	
64	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	複数列の充填刺突文	表土	
65	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部・底部に充填刺突文	SI ２覆土中	
66	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	充填刺突文	SI ２覆土中	
67	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部刻み　体部弧線文による菱形状区画文ヵ	SI ２覆土中	
68	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	橙	普通	口縁部 LR 充填の枠状文　口縁の肥厚はなし	SI ２覆土中	
69	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR 充填枠状文	SI ２覆土中	
70	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR 充填枠状文	SI ２３区１x	
71	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	枠状文	表土	
72	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	沈線による縦位区画と枠状文	SI ２覆土中	
73	縄文土器	広口壺	－	－	－	長石・石英	にぶい褐	普通	口頸部 LR 充填隆起帯縄文と刺突文　体部 LR 充填縄文	SI ２覆土中	
74	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	波状　無節 L 充填縄文	SI ２覆土中	
75	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	口頸部上下にキザミ列の区画帯　区画内抉り込み状の沈線による４条の弧線文	表土	PL ５
76	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	黄灰	普通	口縁部に山形突起　LR 充填の入り組み三叉文	SI ２覆土中	
77	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	LR 充填の雲形文	SI ２覆土中	
78	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	橙	普通	緩い波状　LR 縄文充填　内面口縁部に三叉文＋沈線	SI ２覆土中	
79	縄文土器	台付鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	台部　のの字文	SI ２２区２x	
80	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄褐	普通	口縁部入り組む羊歯状文　体部削り	SI ２覆土中	
81	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部に B 突起　口縁部入り組む羊歯状文　体部無文	表土	
82	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	口唇部刻み	SI ２覆土中	
83	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	頸部 LR 充填の雲形文	SI ２覆土中	
84	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	LR 充填の雲形文　口唇部に三叉状刻り込み文	SI ２覆土中	
85	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	灰黄褐	普通	体部 LR 充填の雲形文	SI ２４区２x	
86	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	LR 充填の雲形文	SI ２覆土中	

第 21 表　遺構外出土遺物一覧（３）（第 24 ～ 26 図）

番号	種　別	器種	口径	器高	底径	胎　土	色　調	焼成	特　　徴	出土位置	備　考
87	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	LR 充填の C 字文	SI ２覆土中	
88	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部に未穿孔の孔１か所　口縁部に B 突起　口唇部刻み	SI ２覆土中	
89	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部に２つの B 突起　外・内面磨き	SI ２覆土中	
90	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部押圧　口縁部外反	SI ２２区２x	
91	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	頸部二溝間の截痕　ナデ	SI ２２区２x	
92	縄文土器	壺	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	にぶい褐	普通	LR 充填の雲形文ヵ	SI ２覆土中	
93	縄文土器	台付鉢	－	(6.2)	－	長石・石英	にぶい黄褐	普通	鉢～台部　外面ナデ　鉢部内面磨き	SI ２覆土中	５％
94	縄文土器	壺	－	(4.8)	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口縁部外面縦位の削り	SI ２覆土中	５％
95	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部に紐線　頸部 LR 充填磨消区画文	表土	
96	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	条線→紐線貼付→区画文	表土	
97	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	頸部条線→縦位区画・区画内磨き→紐線貼付	SI ２覆土中	
98	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	口縁部肥厚　頸部 RL 充填の区画文	SI ２覆土中	
99	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	頸部 RL 充填の弧線による区画文	表土	
100	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	条線→口縁・頸部区画文　縦位区画に瘤貼付	SI ２覆土中	
101	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	灰褐	普通	条線→口頸部区画文　P102・103 と同一ヵ	SI ２覆土中	
102	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	条線→口頸部区画文　P101・103 と同一ヵ	SI ２覆土中	
103	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	条線→口頸部区画文　P101・102 と同一ヵ	SI ２４区２x	
104	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい橙	普通	沈線による枠状文	表土	
105	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口頸部条線→沈線	SI ２覆土中	
106	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	口頸部横位の条線	SI ２覆土中	
107	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口頸部横位の条線	SI ２２区２x	
108	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	口頸部横位の条線	SI ２覆土中	
109	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐	普通	口頸部横位の条線	SI ２２区２x	
110	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	輪積み痕明瞭　外面削り　内面ナデ	SI ２２区２x	
111	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	外・内面ナデ　口縁部に粘土のまくれあり	表土	
112	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	橙	普通	外面縦位のナデ　内面ナデ	表土	
113	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面縦位の削り　内面ナデ	表土	
114	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石	にぶい黄橙	普通	外面横位の削り　内面ナデ	SI ２覆土中	
115	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	浅黄橙	普通	外・内面ナデ	表土	
116	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	橙	普通	口縁部横位・体部縦位の削り　内面ナデ	SI ２覆土中	
117	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外面削り　内面ナデ	SI ２覆土中	
118	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい褐	普通	付帯口縁　外面削り　口縁部指頭痕	SI ２覆土中	
119	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面口縁部指頭ナデ　体部削り　内面ナデ	SI ２覆土中	
120	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・角閃石・赤色粒子	灰白	普通	外面削り	SI ２３区２x	
121	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	付帯口縁　口縁部短く外反　指頭ナデ　体部削り	SI ２覆土中	
122	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	口縁部縦位のナデ　体部削り	SI ２覆土中	
123	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	付帯口縁　口縁部・内面ナデ　体部削り	SI ２２区２x	
124	縄文土器	鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄橙	普通	外面ナデ　内面磨き	表土	
125	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	口唇部刻み　外・内面ナデ	SI ２覆土中	
126	縄文土器	浅鉢	－	－	－	長石・石英	にぶい黄橙	普通	外面削り　内面ナデ	SI ２覆土中	
127	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	褐灰	普通	外面削り　内面口縁部粗い磨き　体部削り	表土	
128	縄文土器	深鉢	－	－	－	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	外・内面ナデ	SI ２覆土中	
129	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	口唇部内削ぎ状　外面ナデ　接合痕	SI ２覆土中	
130	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・雲母・赤色粒子	明赤褐	普通	外面削り　底部ナデ	SI ２１区２x	
131	縄文土器	製塩土器	－	－	－	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	外面削り　底部木葉痕	SI ２２区２x	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	胎　土	色　調	特　　徴	出土位置	備　考
132	土版	5.1	3.2	1.9	28.09	長石・石英・雲母	にぶい橙	表面左脇に弧線文ヵ　左上に未穿孔の穴１か所　赤彩ヵ	表土	
133	土器片円盤	4.0	4.4	0.7	12.84	長石・石英・雲母	灰褐	安行３ａ式深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	SI ２１区２x	
134	土器片円盤	2.8	3.3	0.9	10.66	長石・石英・雲母	橙	浅鉢口縁部片利用　裏面に沈線文　周縁打ち欠き	表土	
135	土器片円盤	3.1	2.8	0.6	6.15	長石・石英・雲母	にぶい橙	深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	表土	
136	土器片円盤	4.4	4.6	1.0	22.56	長石・石英	にぶい橙	紐線文系深鉢体部片利用　周縁打ち欠き	表土	

番号	器　種	長さ	幅	厚さ	重量	材　　質	特　　徴	出土位置	備　考
137	石剣	(12.1)	(2.9)	(2.3)	82.4	粘板岩	頭部に I 字文　被熱	表土	PL ６
138	石剣	(11.2)	(4.0)	(2.2)	178.52	緑泥片岩	裏面に加工時の敲打痕	表土	PL ６
139	打製石斧	8.4	5.4	1.8	98.58	安山岩	分銅型　括れ部歯潰し状に敲打　被熱	表土	PL ６
140	打製石斧	(8.2)	(6.3)	(2.2)	126.13	流紋岩ヵ	分銅型　括れ部に歯潰し状の敲打痕	表土	
141	打製石斧	19.8	9.0	3.2	705.84	泥岩ヵ	撥型に近い形状　括れ弱い	表土	PL ６
142	石錘	(9.2)	(4.6)	1.3	90.57	安山岩	上部に打ち欠き　被熱	表土	PL ６
143	石皿	(14.1)	(12.3)	4.4	840.65	安山岩	表裏に磨り面	SI ２１区２x	PL ６
144	石皿	(9.0)	(10.5)	6.6	725.93	安山岩	表面磨り面　磨→凹	表土	PL ６
145	石皿	(12.9)	(10.2)	2.7	554.54	雲母片岩	裏面は剥離ヵ　表面磨り面　磨→凹	表土	
146	凹石	10.6	8.7	6.2	302.2	軽石	表面は一部分のみ磨り痕　裏面のくぼみは自然	表土	PL ６
147	凹石	(6.6)	(6.2)	4.2	223.2	安山岩	表裏光沢のある磨り面　凹→磨　側面ざらつきのある磨り面	表土	
148	磨石	(5.2)	5.9	4.0	166.54	安山岩	表裏光沢のある磨り面　側面ざらつきのある磨り面	表土	
149	敲石	7.9	5.8	2.8	211.03	凝灰岩ヵ	磨製石斧の転用ヵ　上下に細かい敲打痕　一部磨り状　側面の敲打は加工時ヵ	表土	
150	凹石	6.6	5.9	4.7	247.97	安山岩	表裏・側面ともざらつきのある磨り面　凹→磨	SI ２１区２x	PL ６
151	凹石	(5.5)	5.9	4.5	193.16	安山岩	表裏光沢のある磨り面　凹→磨　側面ざらつきのある磨り面　一部敲打	SI ２１区２x	
152	凹石	(10.4)	6.0	4.6	417.7	安山岩	表裏光沢のある磨り面　凹→磨　側面ざらつきのある磨り面	表土	

第４節　総　　括

今回の調査では，竪穴建物跡６棟（縄文時代４・古墳時代１・時期不明１），土坑４基（縄文時代３・時期不明１）を確認し，縄文時代中期から晩期と古墳時代中期の集落跡であることが分かった。また，表土から出土した１点であるが，関西系の土器片（第 24 図　75）を確認した。出土した縄文土器の量から，当該期の遺物包含層の存在が想定できる。層位ごとの分布は示すことはできないが，その範囲や土器の型式，出土量等の状況を提示することで，その可能性に迫りたい。

調査区中央部で黒色がかった堆積土が確認され，Ｇ３j2 ～ Ｈ３a5 にかけてトレンチ掘削を行ったが，遺物の出土は少量で埋没谷と判断した。しかし，この埋没谷より北側の調査区では，表土の出土遺物や遺構に混入した遺物として，多量の縄文土器片が出土しており，遺物包含層が存在する可能性がある。

以下の集計表に，出土した縄文土器は，すべての土器について以下のように分類し，各遺構や表土採集におけるその出土量はｇで，点数は（ ）内に示す。（注：集計は遺構に属するものを除いている）

第１群（加曽利Ｅ式），第２群（称名寺式），第３群（堀之内式），第４群（加曽利Ｂ式），第５群（曽谷式）第６群（安行１・２式），第７群（安行３a・３ｂ式），第８群（安行３ｃ・３ｄ式），第９群（前浦式），第 10 群（大洞Ｂ・BC 式），第 11 群（大洞Ｃ１・Ｃ２式），第 12 群（後期土器：縄文，無文，条線，付点紐線文，紐線文），第 13 群（晩期土器：紐線文，条線文，付帯口縁，無文），第 14 群（製塩土器），第 15 群（型式判断不能）とした。

第 22 表　遺構・縄文土器分類別の出土量とその点数一覧

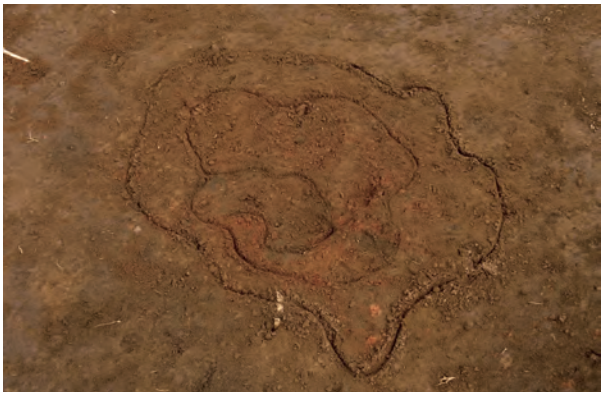
	１群	２群	３群	４群	５群	６群	７群	８群	９群	10 群	11 群	12 群	13 群	14 群	15 群
第１号竪穴建物跡（時期不明）	108.9（3）	196.6（2）	17.1（1）	–	–	237.3（7）	130.5（3）	236.7（3）	–	–	247.7（2）	88.2（4）	131.6（7）	9.8（1）	1288.7（70）
第２号竪穴建物跡（古墳時代）	1239.7（31）	40.3（2）	298.8（17）	361.4（7）	–	1280.6（53）	1720.1（71）	2283.8（72）	273.3（6）	50.3（3）	473.2（20）	505.8（23）	6663.0（348）	38.6（2）	16410.7（883）
第３号竪穴建物跡（加曽利ＥⅡ式期）	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	288.4（14）
第４号竪穴建物跡（安行３ｃ～３ｄ式期）	1056.4（48）	447.3（16）	2427.1（76）	236.2（10）	76.7（4）	451.4（26）	1743.9（86）	–	310.3（9）	172.5（6）	389.2（15）	535.2（28）	3740.6（170）	109.1（8）	34249.6（1942）
第１号土坑（安行３c～３d式期）	128.4（2）	–	74.0（3）	50.8（4）	–	14.9（2）	180.3（9）	–	22.5（1）	–	212.9（5）	63.3（3）	1045.4（40）	37.3（3）	3990.1（201）
第２号土坑（加曽利ＥⅢ式期）	–	–	30.8（1）	–	–	–	–	30.5（1）	–	–	–	44.0（2）	286.4（5）	27.0（2）	894.0（57）
第５号竪穴建物跡（堀之内１式期）	2568.4（92）	1402.0（55）	481.7（6）	–	–	3.4（1）	19.2（1）	212.0（3）	–	–	27.3（2）	17331.7（568）	136.2（9）	–	21.9（3）
第６号竪穴建物跡（加曽利ＥⅢ式期）	147.7（2）	69.2（2）	31.2（2）	–	–	48.7（1）	88.7（3）	–	–	–	–	112.9（4）	–	–	642.9（24）
第５号土坑（安行３ｃ式期）	110.4（4）	–	80.0（4）	36.6（2）	–	290.7（4）	–	–	–	461.4（1）	–	212.0（7）	270.5（3）	–	319.2（25）
表土	1385.4（37）	155.2（7）	952.8（35）	101.4（4）	27.9（2）	400.6（18）	468.8（19）	284.7（9）	61.1（3）	22.6（1）	8.5（1）	535.7（13）	1221.2（46）	11.0（1）	7026.6（388）

上の表と遺構全体図（第３図）から，第３・６号竪穴建物跡の周辺を中心として，堆積土に当該期の加曽利Ｅ式土器片が含まれ始め，縄文時代の後期は第５号竪穴建物跡，晩期は第２号竪穴建物跡を中心とした地点で，土器片が含まれていることが分かった。遺物を廃棄した地点は時期ごとに変化している。

写　真　図　版

遺構確認状況（北西から）

テストピット 土層断面



第１号竪穴建物跡 炉

第２号竪穴建物跡 竈

第２号竪穴建物跡

第３号竪穴建物跡

第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（１）

第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（２）

第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（３）

第４号竪穴建物跡 遺物出土状況（４）

第４号竪穴建物跡

第５号竪穴建物跡 遺物出土状況

第５号竪穴建物跡

第１号土坑

第５号土坑 遺物出土状況

埋没谷 堆積状況

SI 4-3

SI 4-14

SI 4-16

SI 5-2

SI 5-13

SI 5-14

SI 1-10

SI 1-4

SI 4-9

SI 4-12

SI 5-3

SI 5-7

SI 5-15

SI 5-19

SI 5-18

SK 5-3

SK 5-1

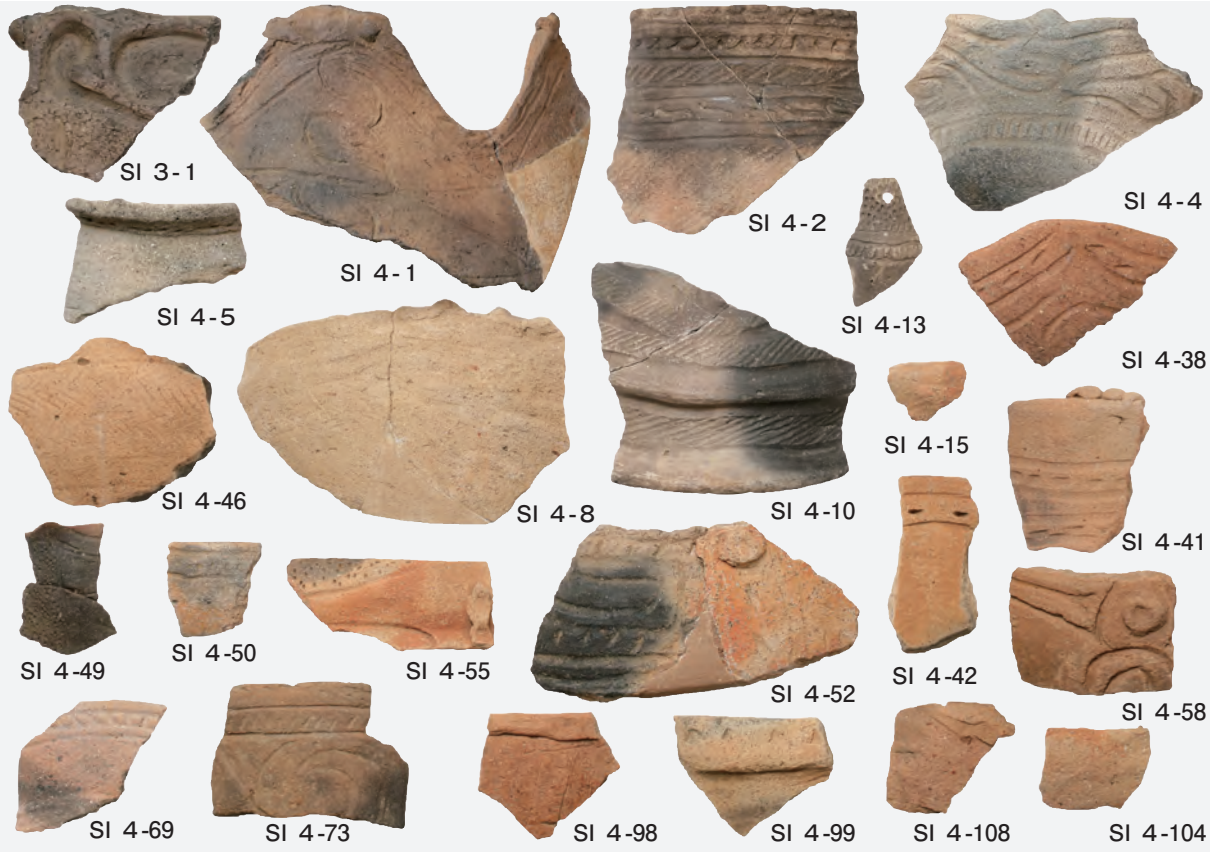
SI 5-1

SI 5-17

SI 5-11

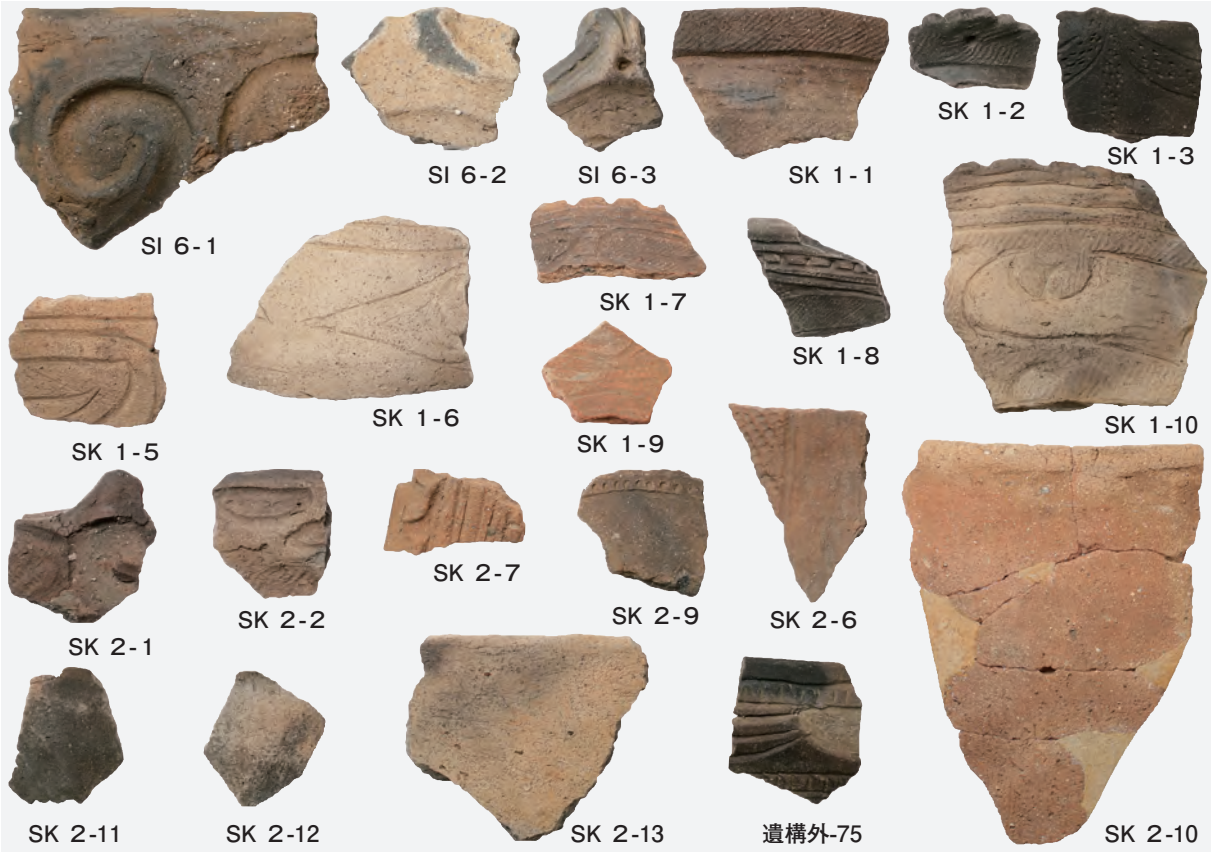
第１・４・５号竪穴建物跡，第５号土坑出土土器

PL4

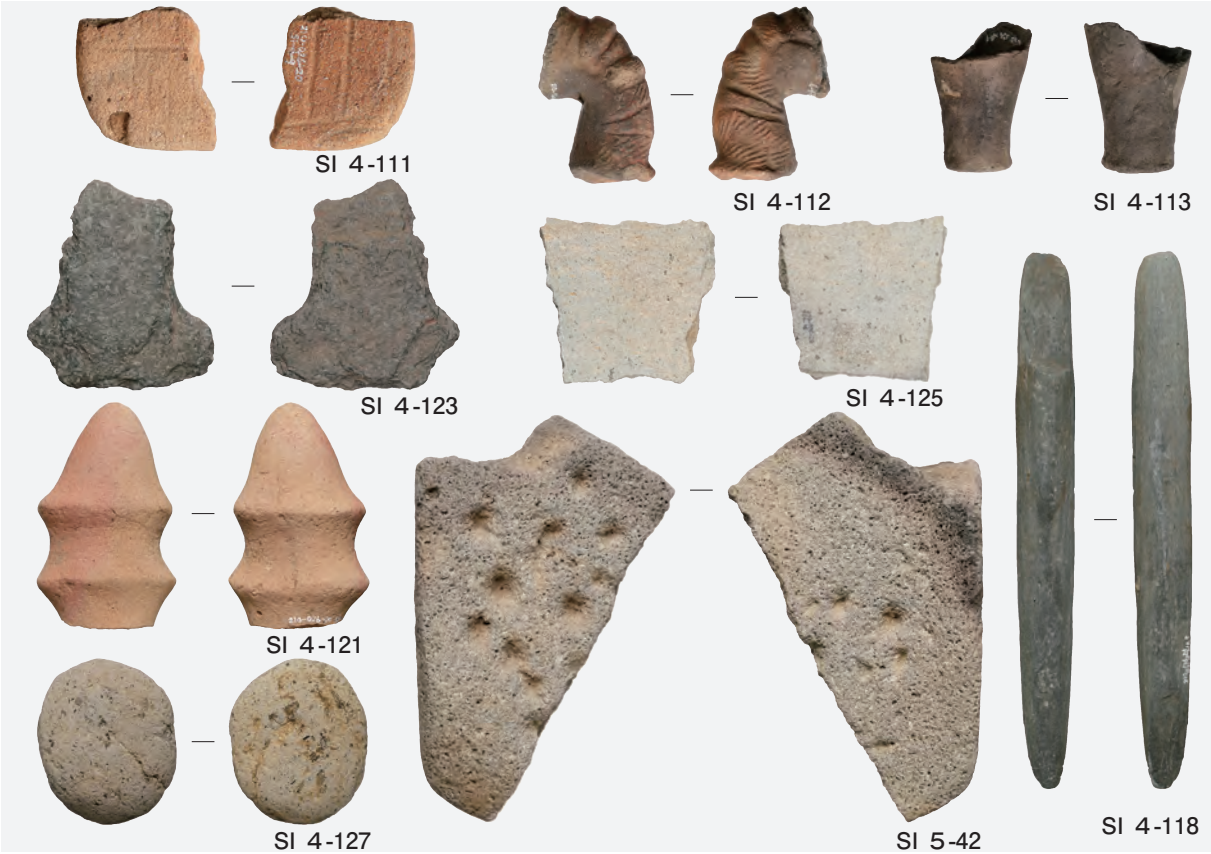


第３・４号竪穴建物跡出土土器

第５号竪穴建物跡出土土器



第６号竪穴建物跡，第１・２土坑，遺構外出土土器



第４・５竪穴建物跡出土土製品・石器・石製品

第２号竪穴建物跡出土土器，遺構外出土石器・石製品

抄　　録

ふりがな	なかいざしいせき
書　　名	中居指遺跡
副 書 名	鬼怒川改修事業地内埋蔵文化財調査報告書
シリーズ名	茨城県教育財団文化財調査報告第 457 集
著 者 名	獅子内一成
編集機関	公益財団法人茨城県教育財団
所 在 地	〒 310 － 0911　茨城県水戸市見和１丁目 356 番地の２　　ＴＥＬ 029 － 225 － 6587
発 行 日	2022（令和４）年３月 18 日

ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード	北緯	東経	標高	調査期間	調査面積	調査原因
中居指遺跡（なかいざしいせき）	茨城県下妻市（いばらきけんしもつまし） 大字中居指字町田（おおあざなかいざしあざまちた） 270 番地（ばんち）ほか	08210 － 026	36 度 10 分 51 秒	139 度 56 分 9 秒	20 ～ 25 m	20200309 ～ 20200317	1,312 ㎡	鬼怒川改修事業に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
中居指遺跡	集落跡	縄文	竪穴建物跡　４棟 土坑　３基	縄文土器（深鉢・鉢・浅鉢・台付鉢・壺・注口土器・ミニチュア・製塩土器），土製品（土版・土偶・有孔円盤・土器片円盤），石器・石製品（磨製石斧・打製石斧・石錘・石皿・磨石・凹石・敲石・石剣・独鈷石）	
		古墳	竪穴建物跡　１棟	土師器（坏・高坏・甕・手捏土器），石器（砥石）	
	その他	時期不明	竪穴建物跡　１棟 土坑　１基	縄文土器（深鉢・壺・製塩土器）	

要　　約	縄文時代の竪穴建物跡や土坑などからは，中期から晩期にかけての深鉢や鉢，浅鉢，台付鉢，注口土器，製塩土器，土版，土偶，石皿，磨石，石剣，独鈷石などが出土している。これらの土製品および石製品は，祭祀などで用いられた遺物と考えられる。

印　刷　仕　様

編　　集	ＯＳ	Microsoft Windows 10 Pro
	編集	Adobe InDesign 2020
	図版作成	Adobe Illustrator 2020
	写真調整	Adobe Photoshop 2020
	Scanning	EPSON ES－G11000
使用Font	OpenType	リュウミンPro L－KL，太ゴB101 Pro Bold
		見出ミンＭＡ31 Pro，太ミンＡ101 Pro Bold
		中ゴシックBBB Pro Medium
写　　真	線数	カラー210線以上
印　　刷	印刷所へは，Adobe InDesign 2020 でデータ入稿	

茨城県教育財団文化財調査報告第457集

下妻市

中　居　指　遺　跡

鬼　怒　川　改　修　事　業　地　内
埋　蔵　文　化　財　調　査　報　告　書

令和４（2022）年３月18日　発行

発行　公益財団法人茨城県教育財団
〒310－0911　水戸市見和１丁目356番地の２
茨城県水戸生涯学習センター分館内
TEL　029－225－6587
ＨＰ　https：//www.ibaraki-maibun.org

印刷　株式会社高野高速印刷
〒310－0035　水戸市東原2－8－1
TEL　029－231－0989